



国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区を事例とした緑景観の  
形成手法に関する研究

緑地保全・創成学講座 緑地環境計画工学グループ 岩崎雄太郎

## 研究の背景

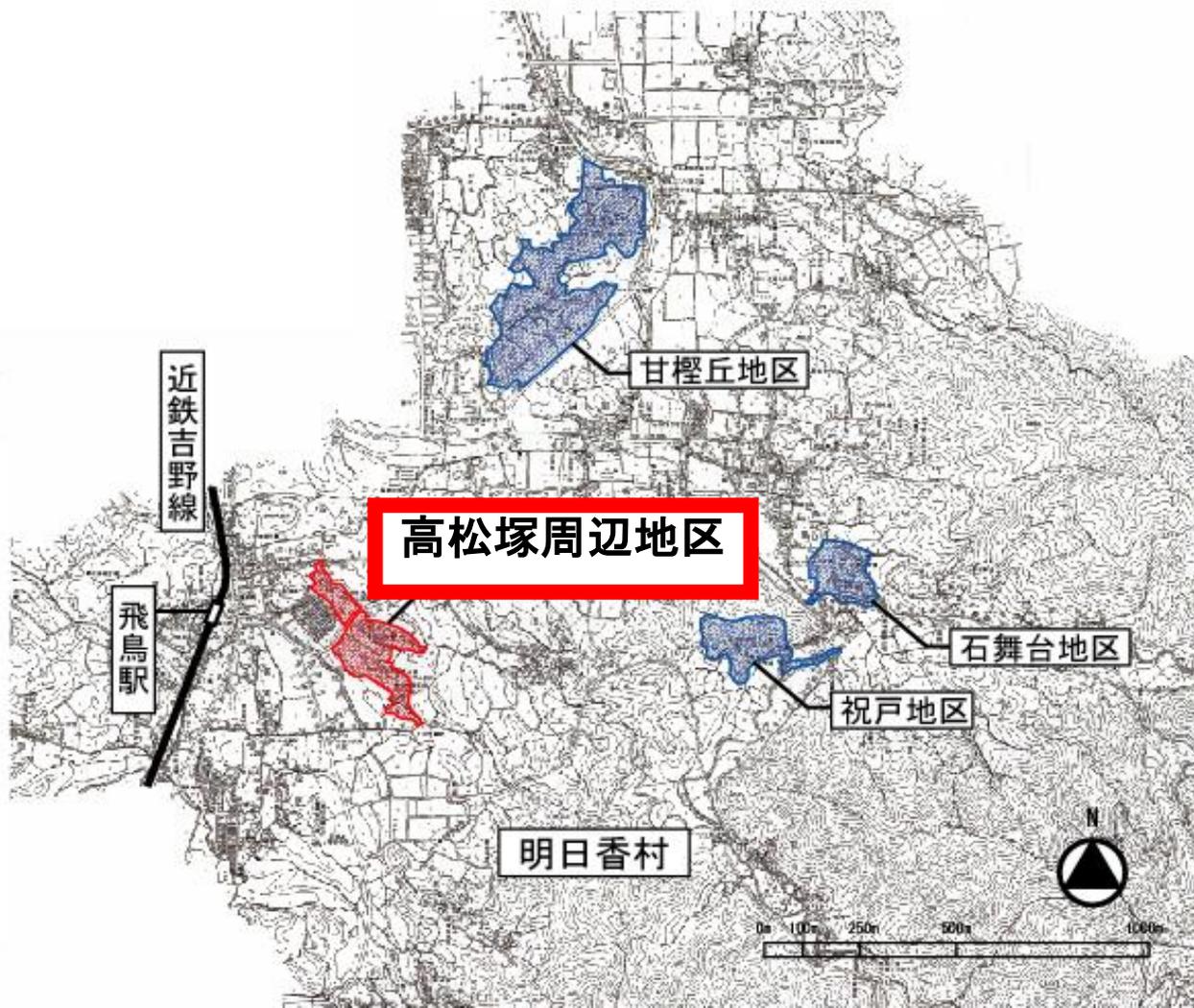
- ・都市近郊における樹林の減少により原風景は喪失してきている。
- ・明日香村は昭和40年代から古都保存法や明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備に関する特別措置法の制定により魅力的な景観が残されている。

## 研究の目的

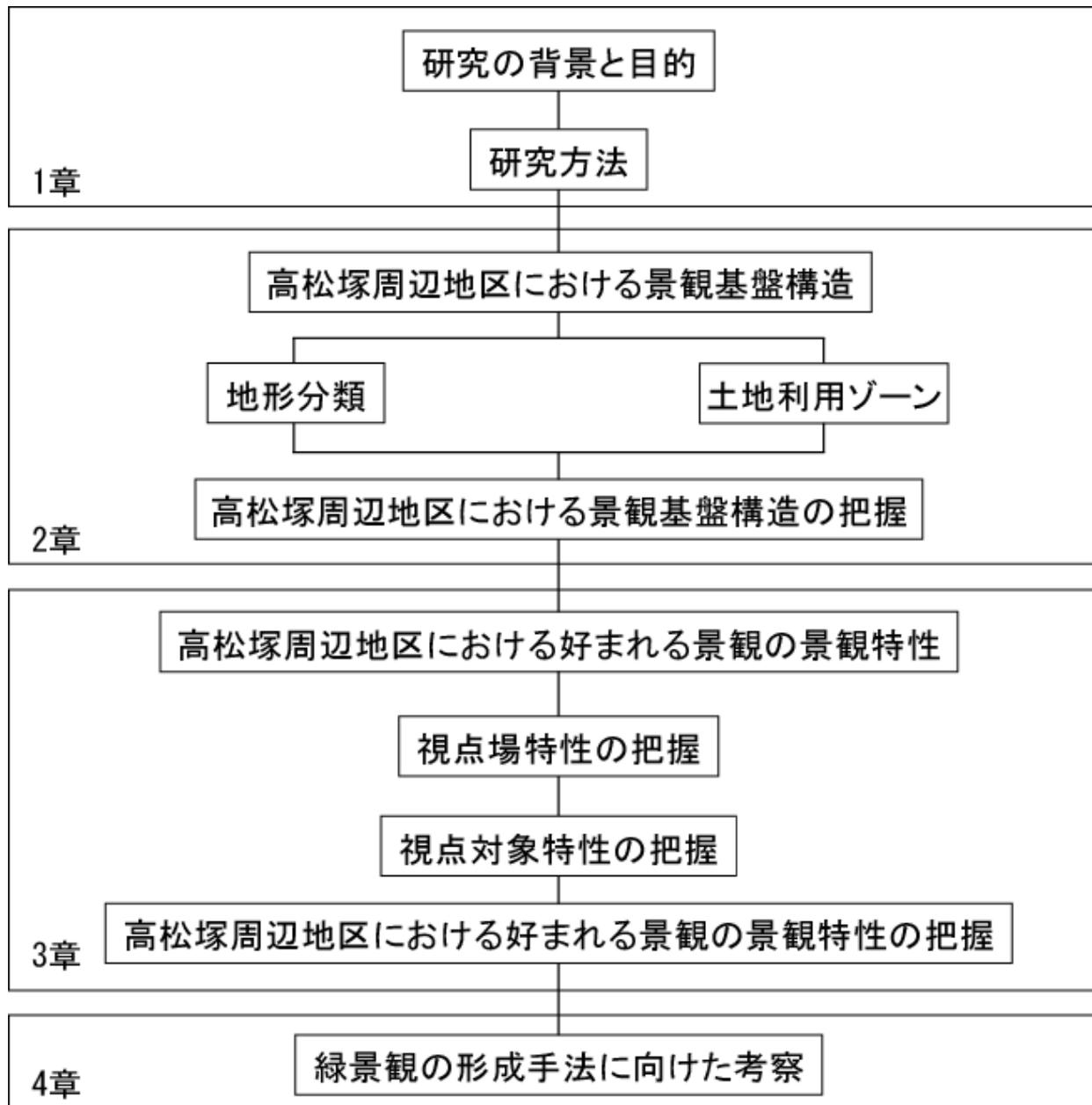
- ・明日香村の国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区(9.13ha)を対象にその景観構造を支える樹林の役割を明らかにすることによって、原風景を活かした魅力ある緑景観を形成するための有効な知見を得る。

## 調査対象地区

- ・明日香村の西側の平野部に位置する高松塚周辺地区
- ・4つある国営飛鳥歴史公園の中で最も西に位置している

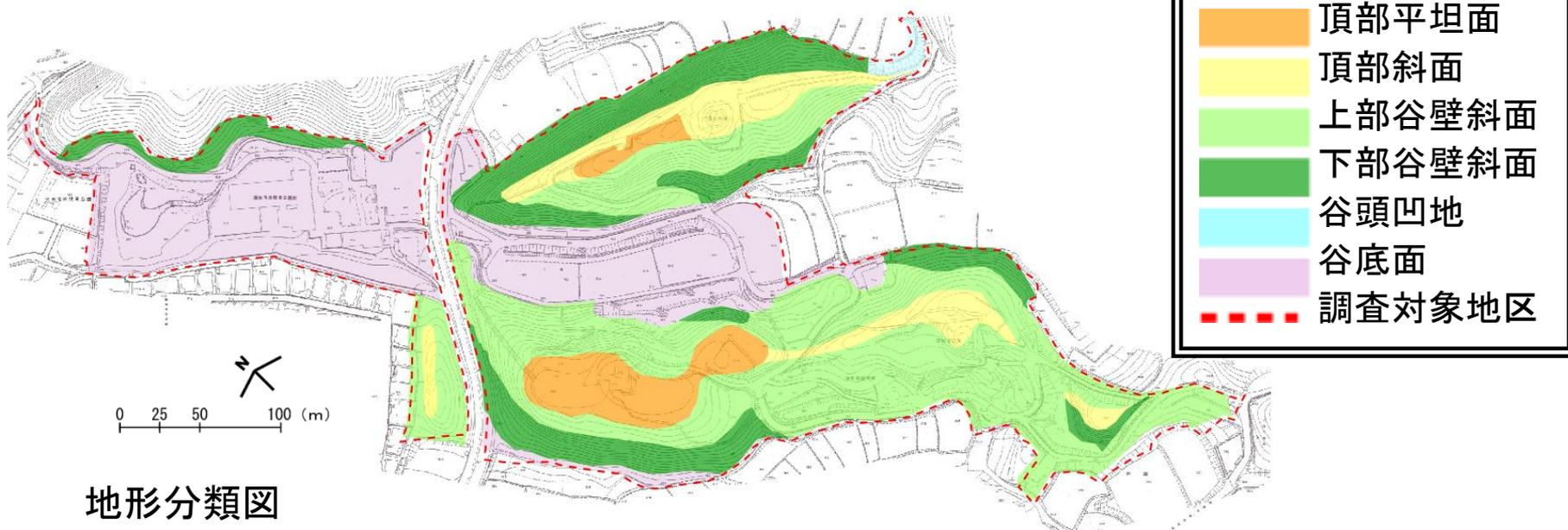
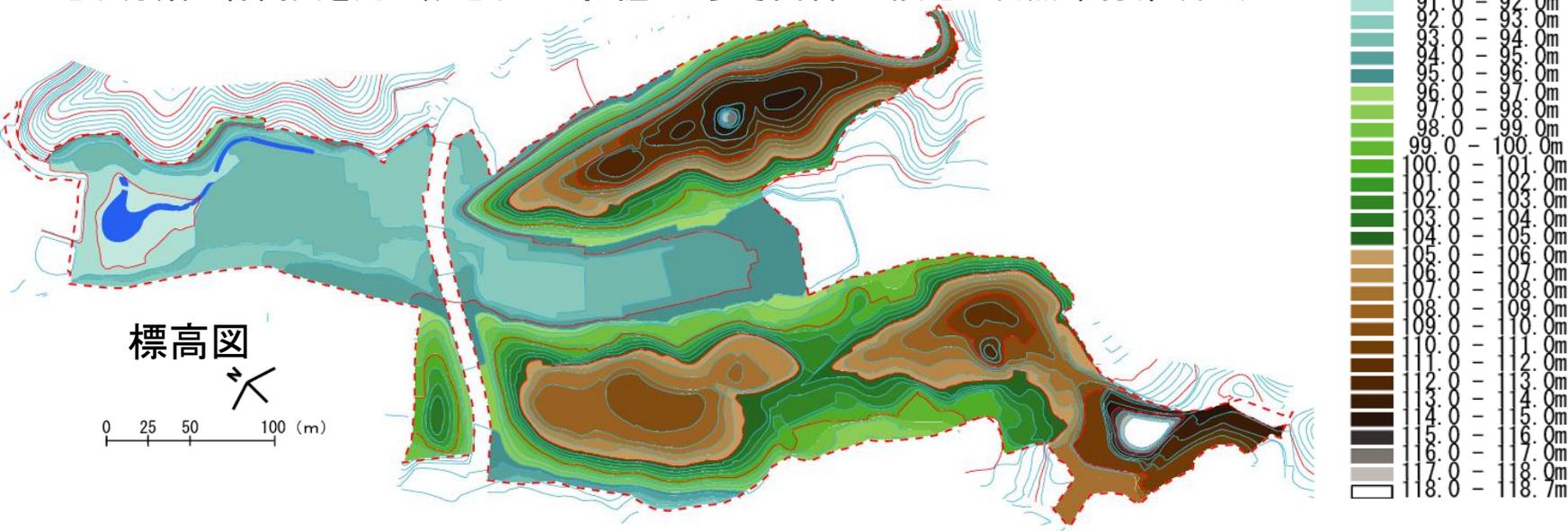


# 研究の構成



## ■地形分類の把握

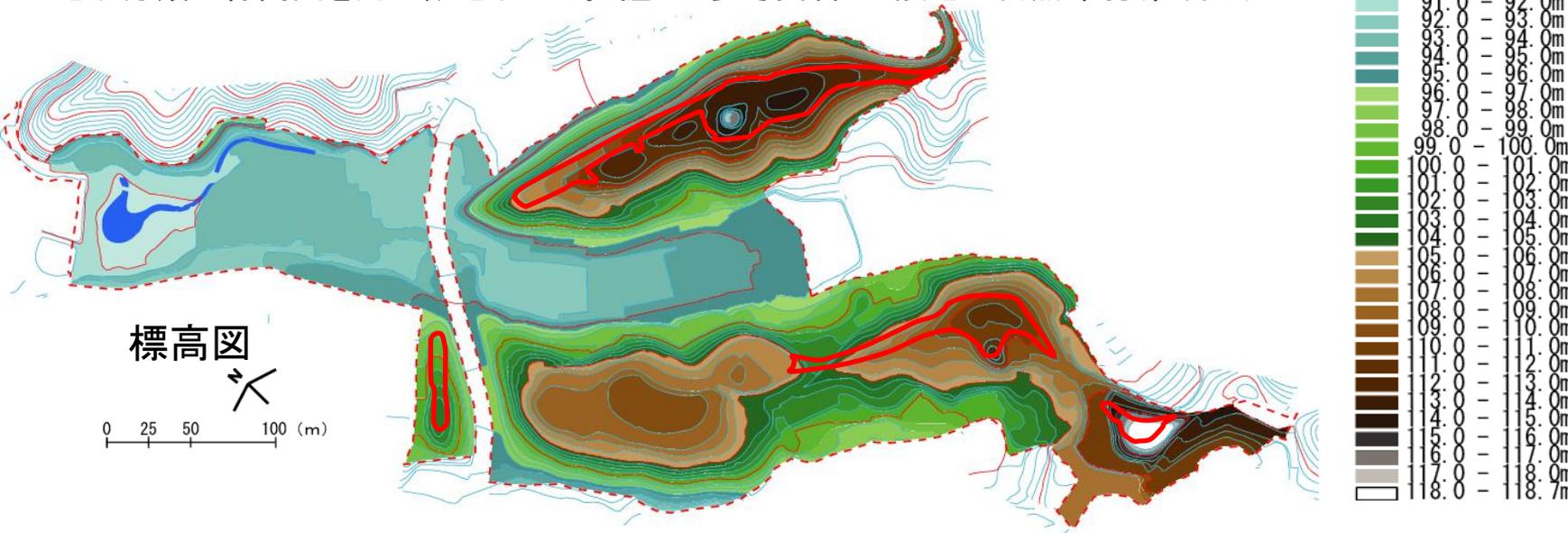
地形分類は標高図を用い微地形から把握 ◆参考資料: 丘陵地の自然環境(松井ら)





## ■地形分類の把握

地形分類は標高図を用い微地形から把握 ◆参考資料: 丘陵地の自然環境(松井ら)



標高図



0 25 50 100 (m)



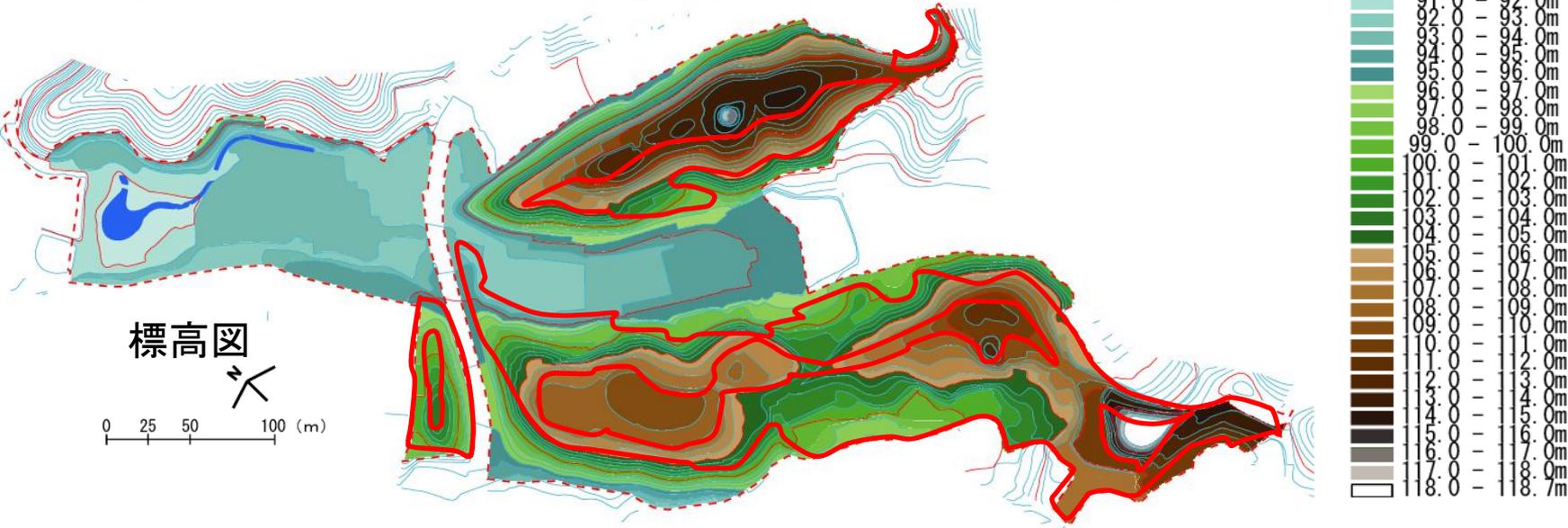
地形分類図



0 25 50 100 (m)

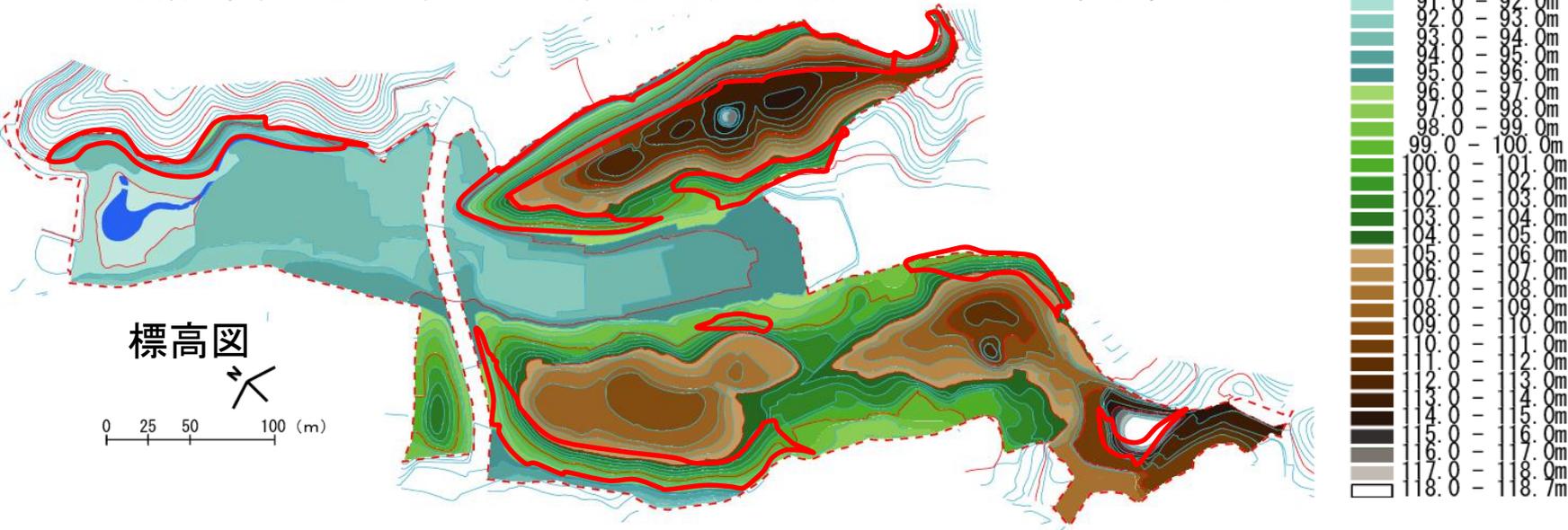
## ■地形分類の把握

地形分類は標高図を用い微地形から把握 ◆参考資料: 丘陵地の自然環境(松井ら)



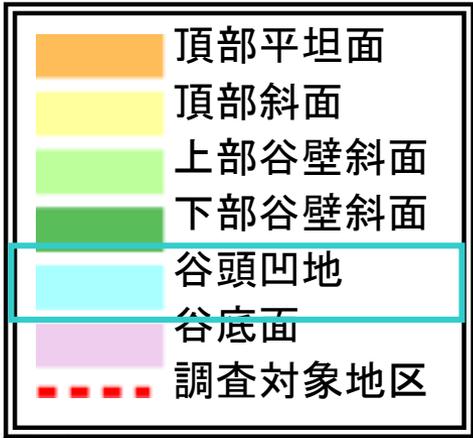
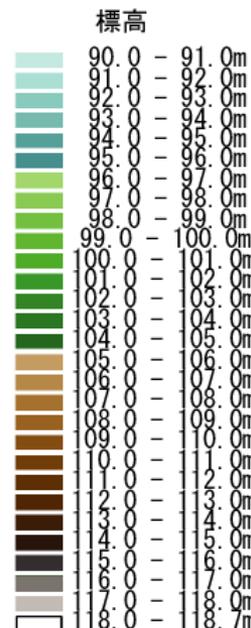
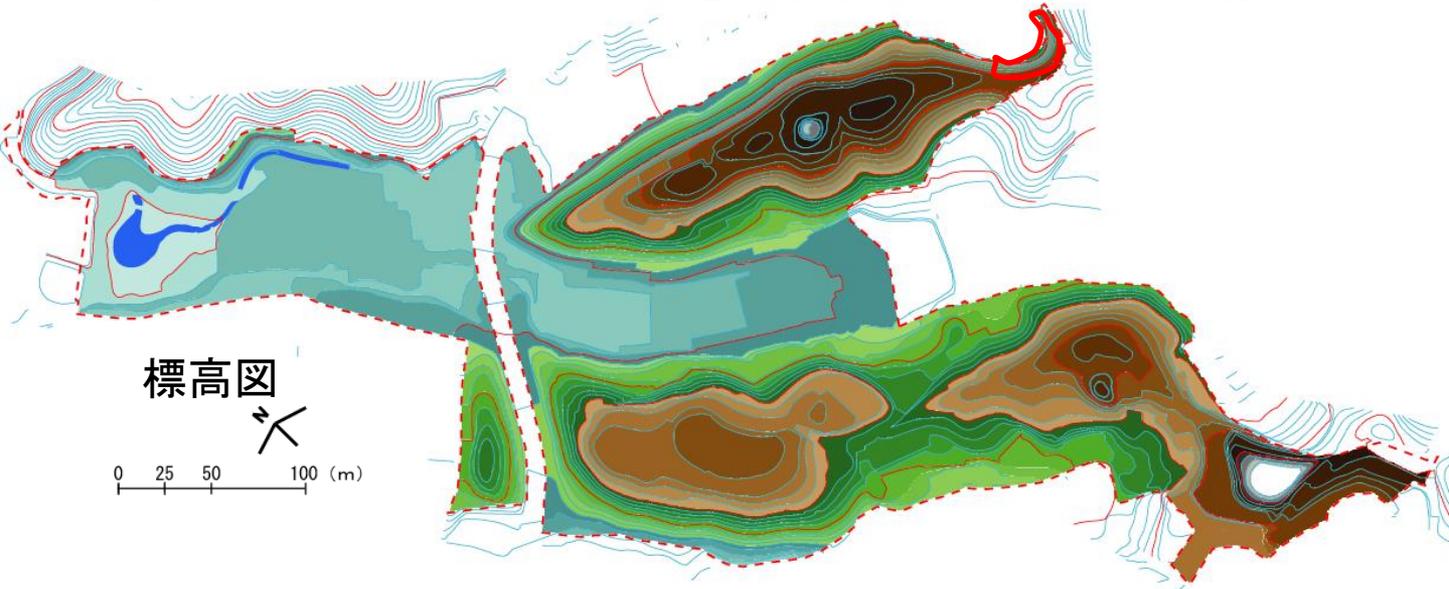
## ■地形分類の把握

地形分類は標高図を用い微地形から把握 ◆参考資料: 丘陵地の自然環境(松井ら)



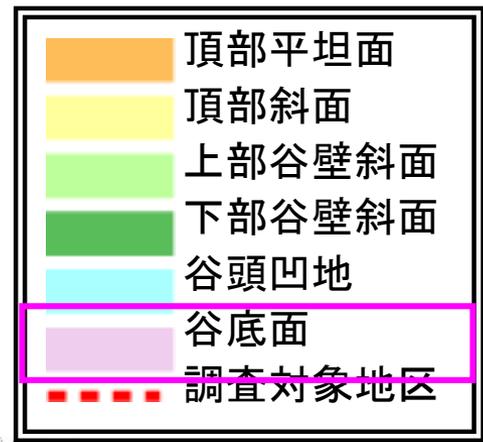
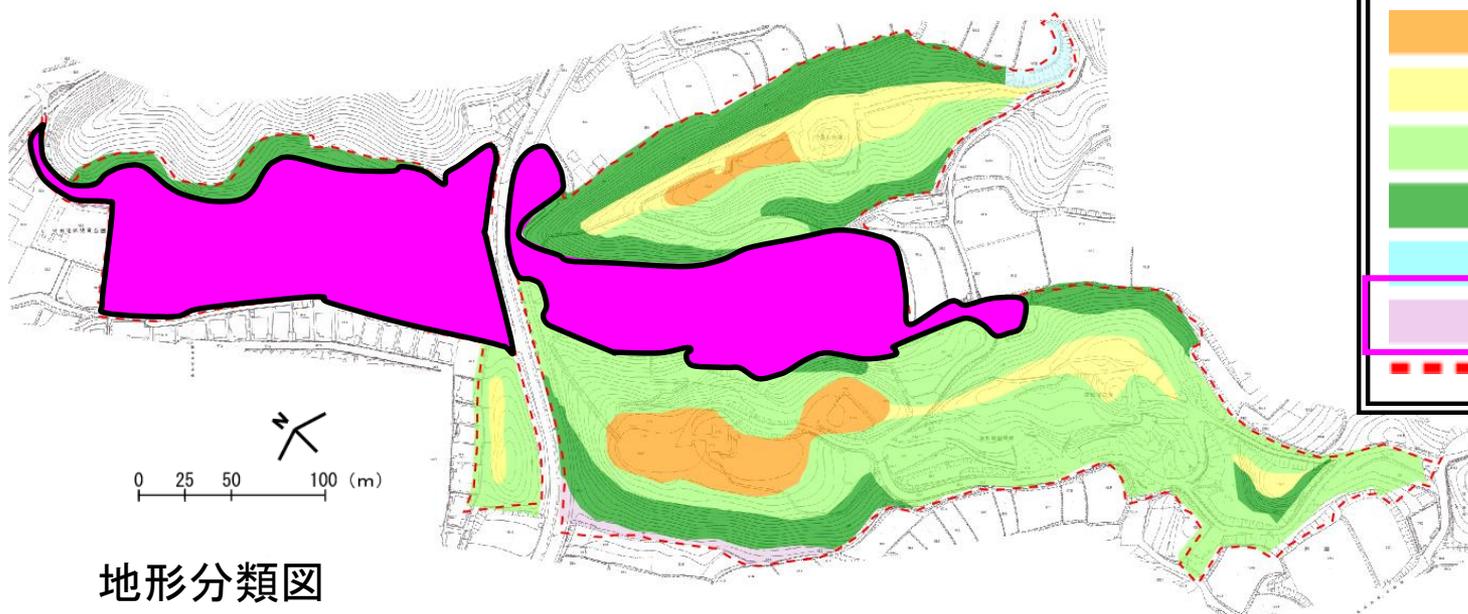
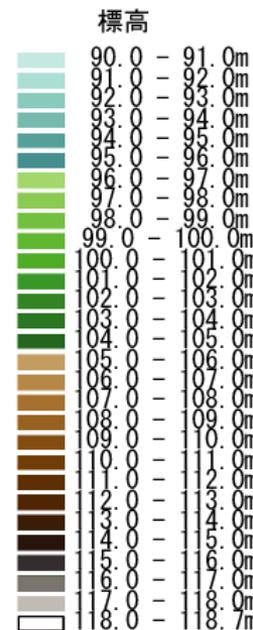
## ■ 地形分類の把握

地形分類は標高図を用い微地形から把握 ◆参考資料: 丘陵地の自然環境(松井ら)



## ■地形分類の把握

地形分類は標高図を用い微地形から把握 ◆参考資料: 丘陵地の自然環境(松井ら)



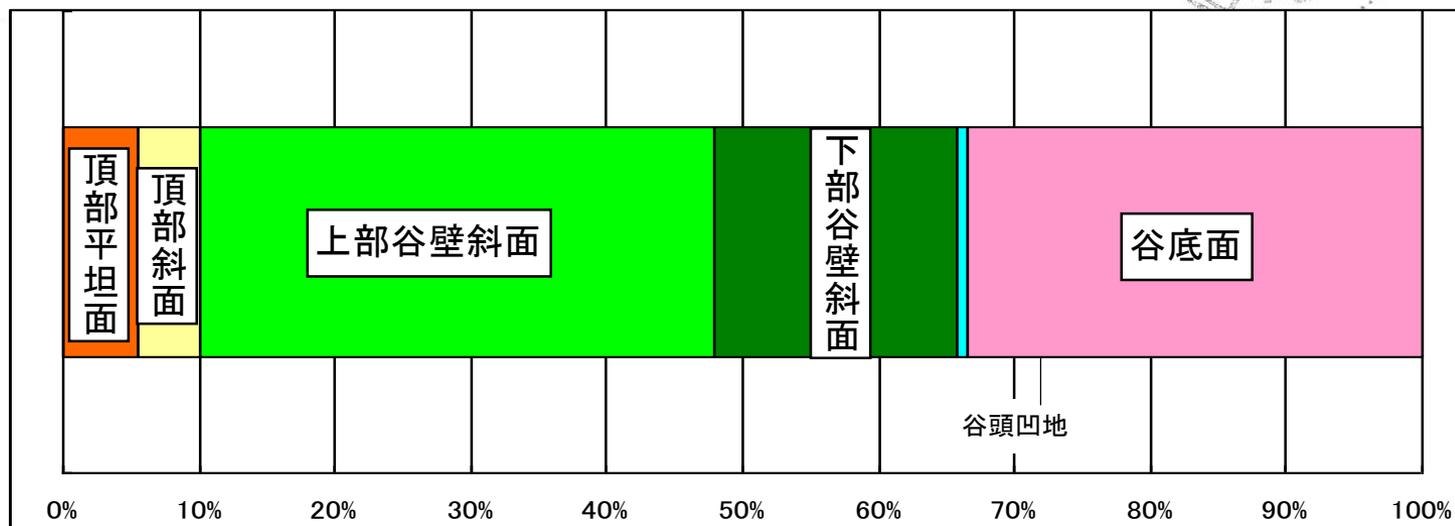


図: 地形分類別面積および割合

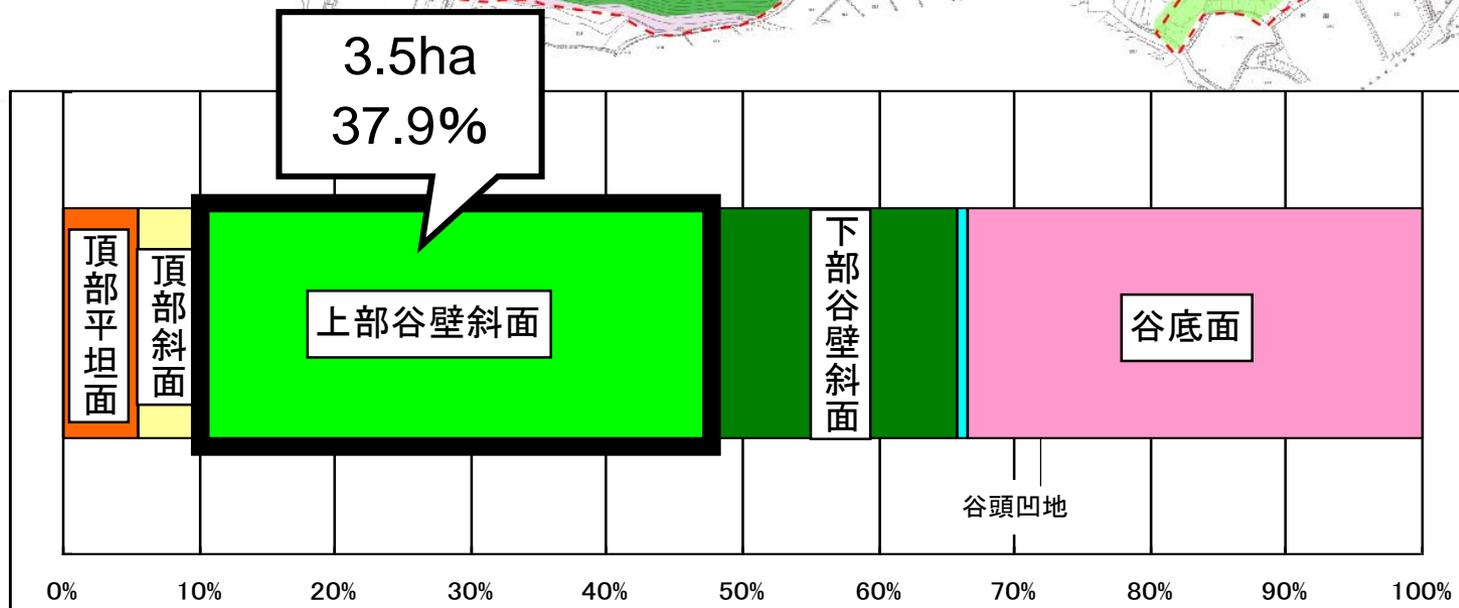


図:地形分類別面積および割合

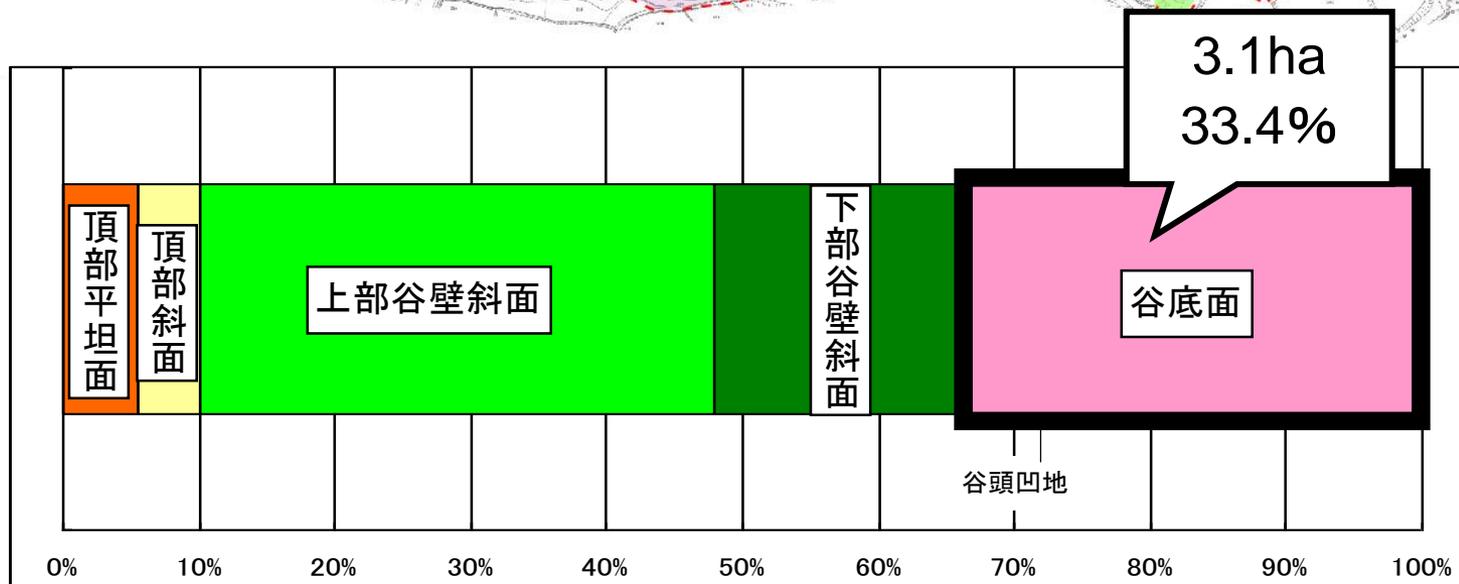


図: 地形分類別面積および割合

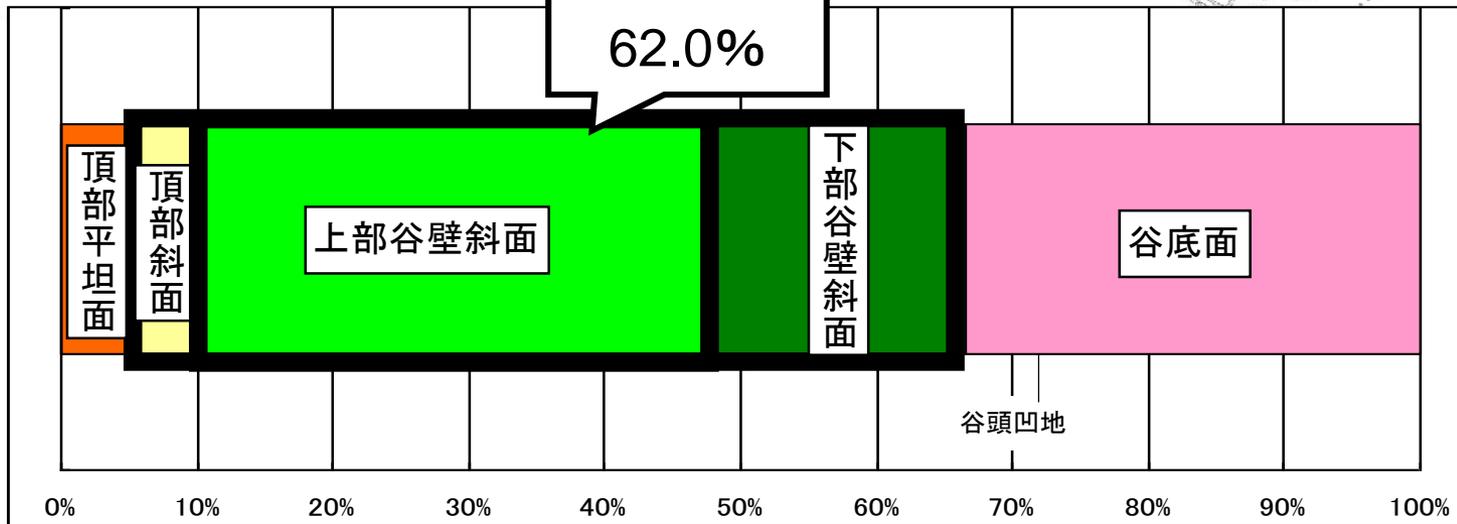
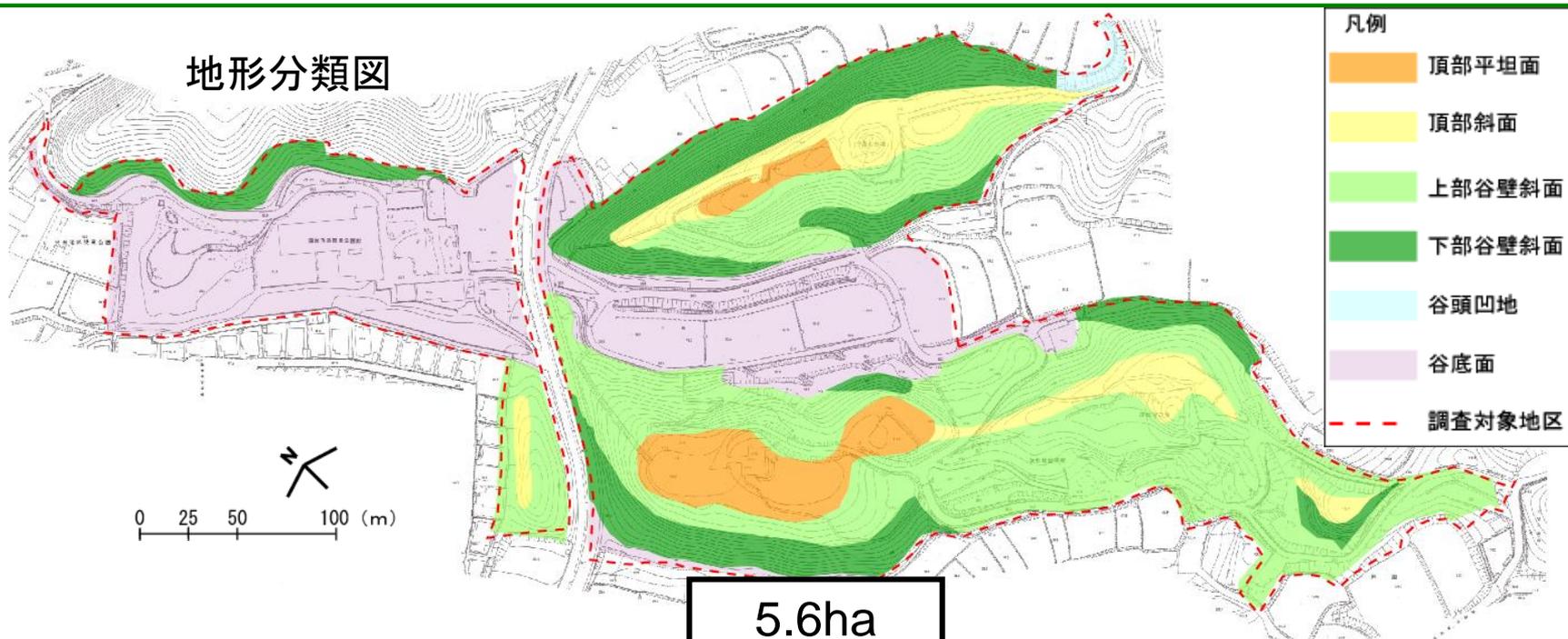


図: 地形分類別面積および割合

## 公園施設配置図

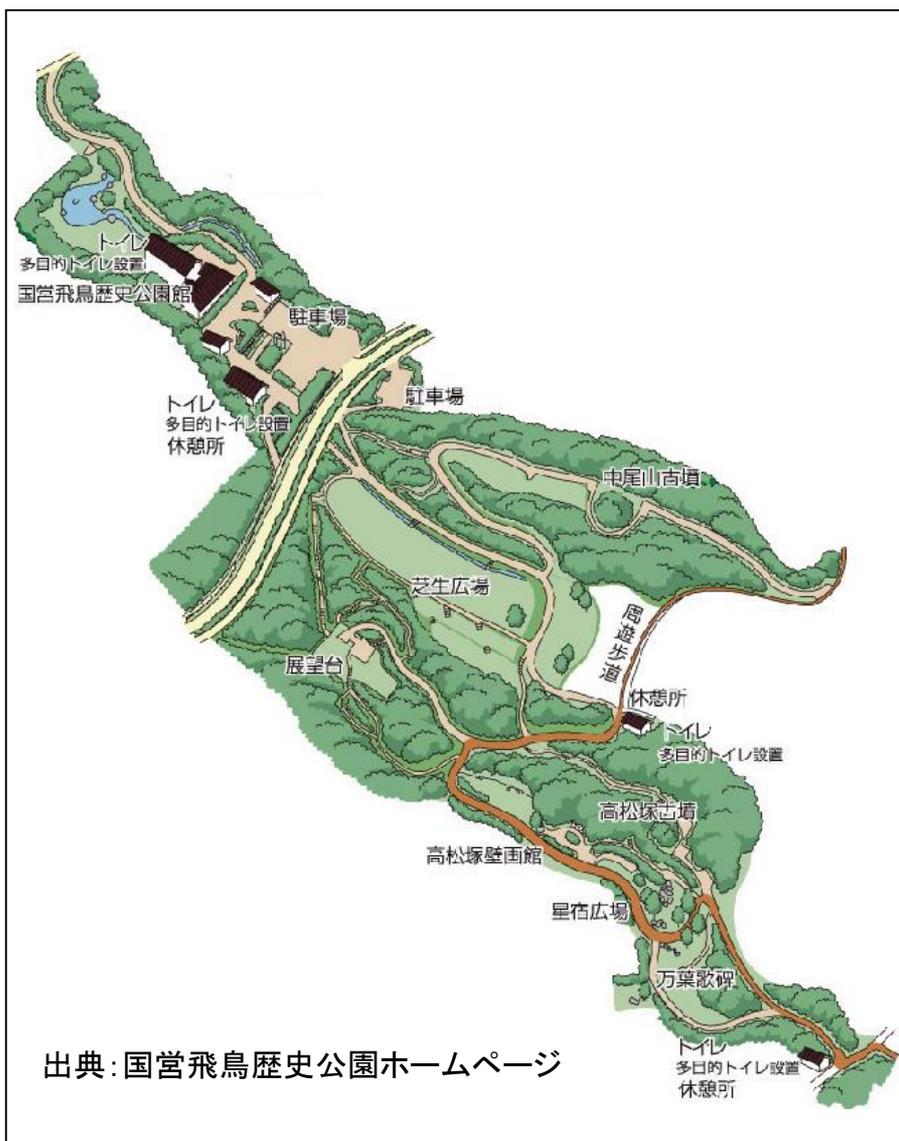


## ■ 土地利用ゾーンの把握

### 公園施設配置図

相観植生および樹林密度分布図より把握

## 公園施設配置図



## ■ 土地利用ゾーンの把握

### 公園施設配置図

相観植生および樹林密度分布図より把握



台帳附図: 平成17年3月作成

相観植生図: 平成17年3月作成

植生調査: 平成18年10月～12月に実施

土地利用ゾーン図

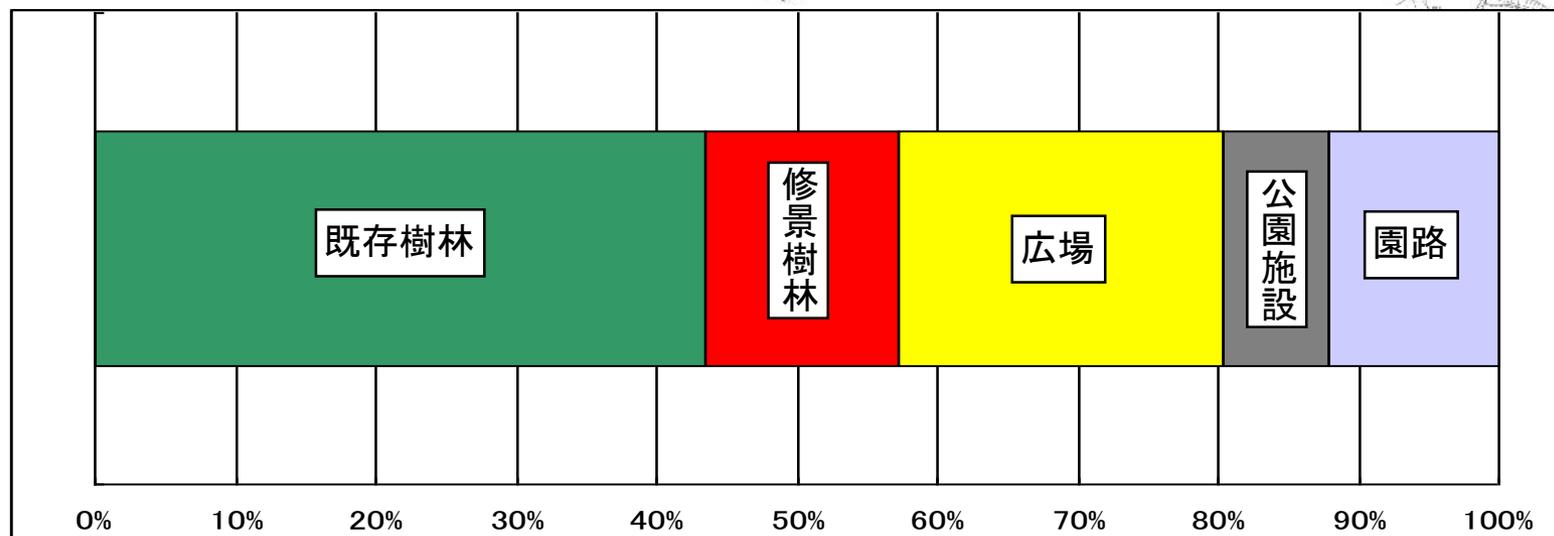


図: 土地利用ゾーン別面積および割合

土地利用ゾーン図

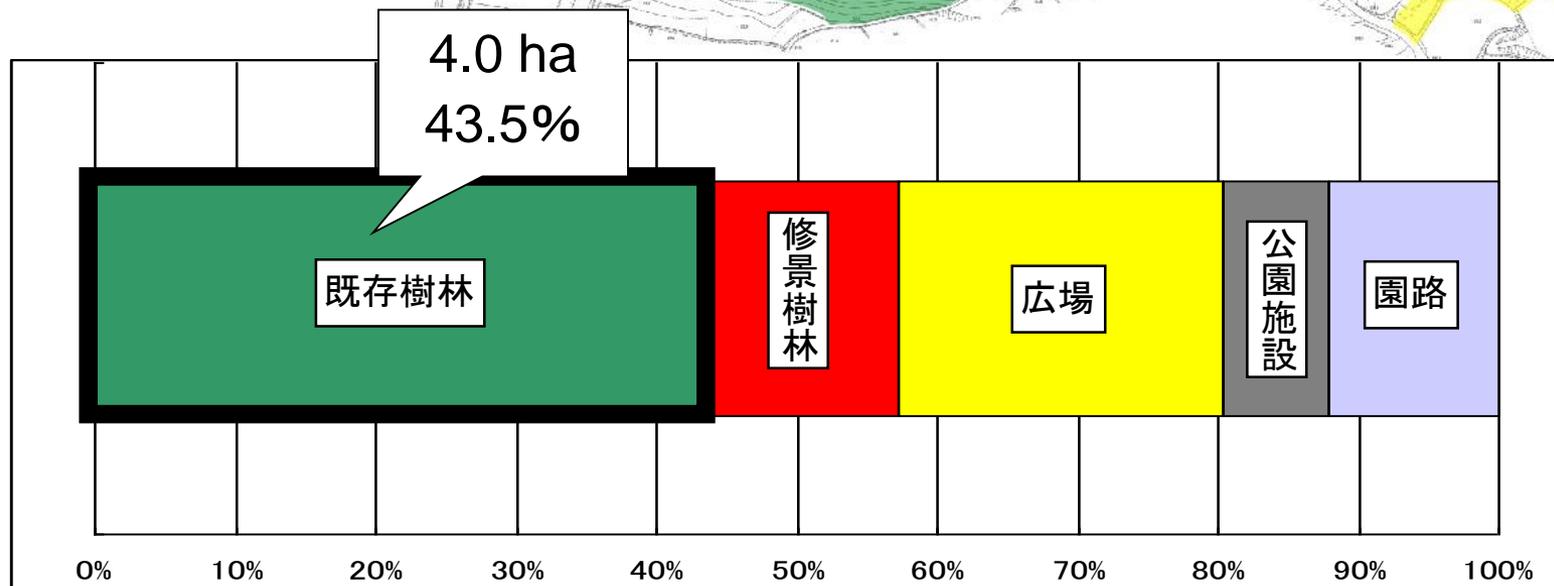


図: 土地利用ゾーン別面積および割合

土地利用ゾーン図

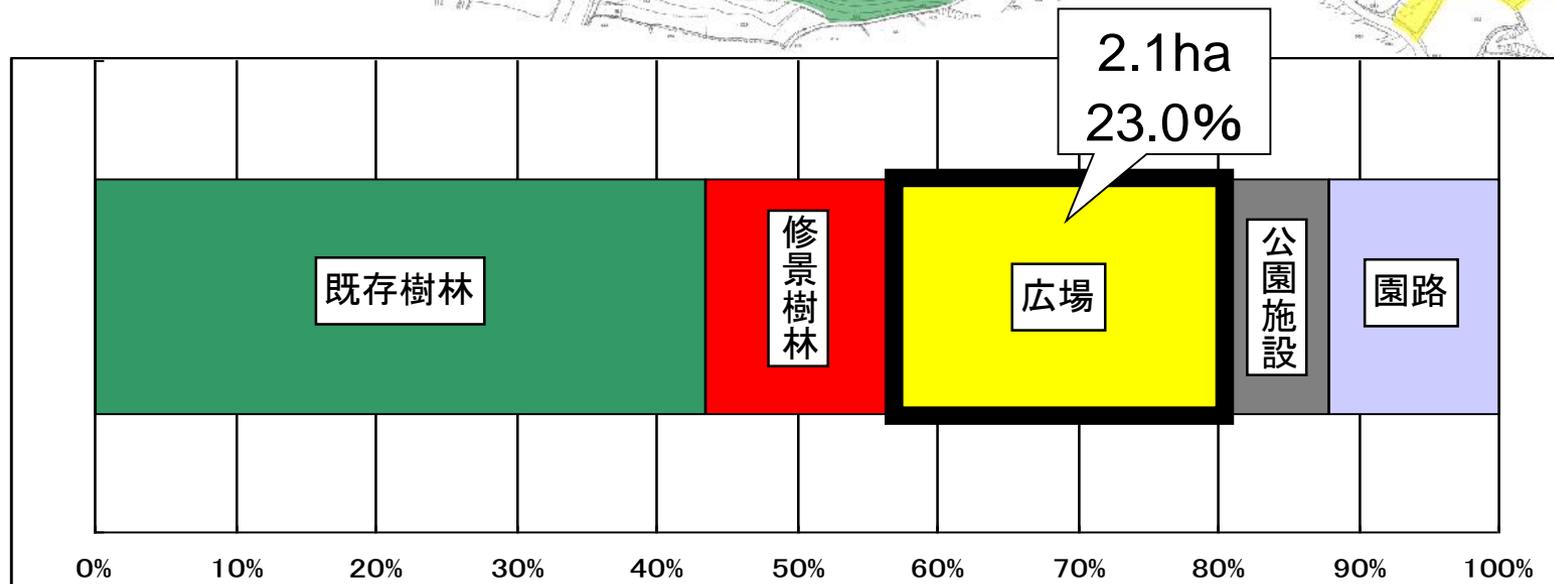


図: 土地利用ゾーン別面積および割合

土地利用ゾーン図

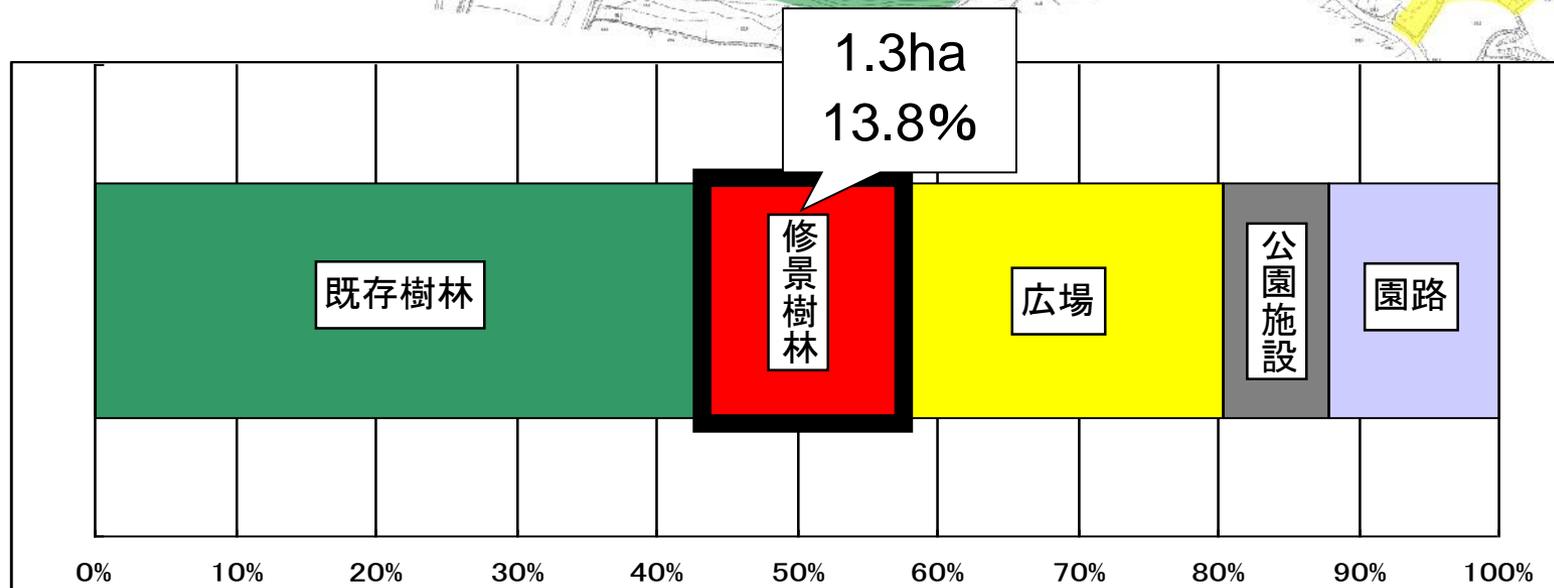


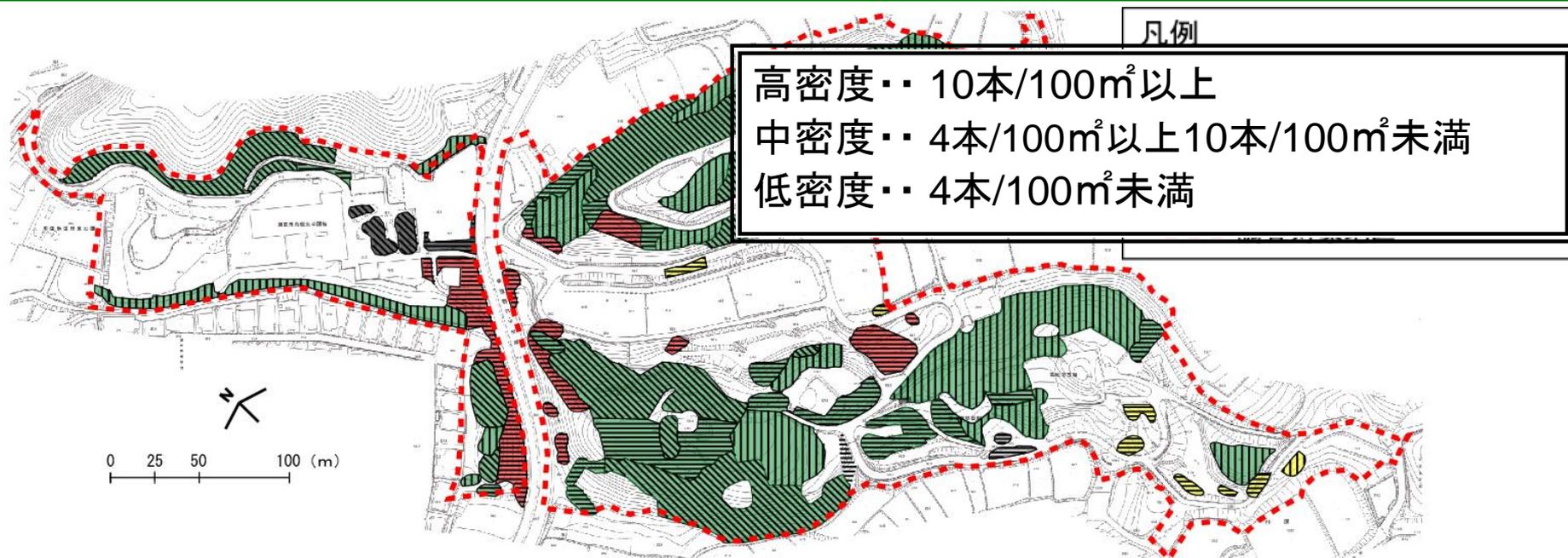
図: 土地利用ゾーン別面積および割合



土地利用ゾーン毎の樹林密度分布図



相観植生および樹林密度分布図



土地利用ゾーン毎の樹林密度分布図



相観植生および樹林密度分布図



土地利用ゾーン毎の樹林密度分布図



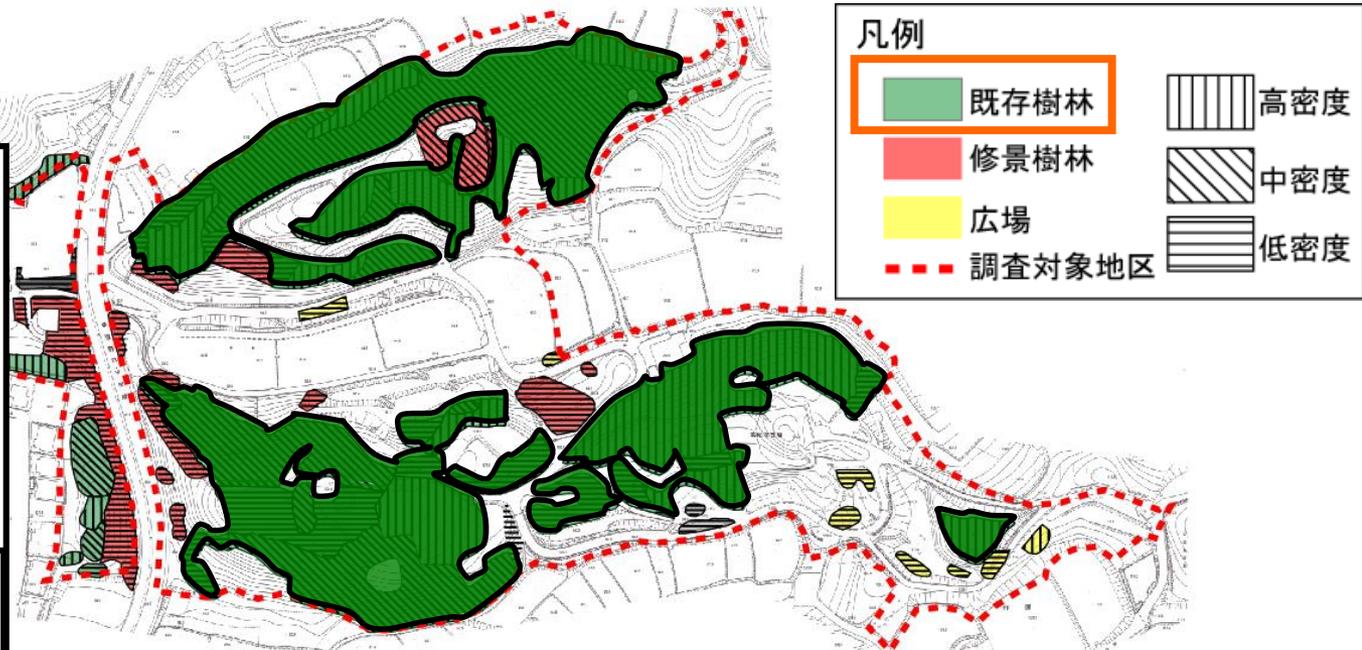
相観植生および樹林密度分布図



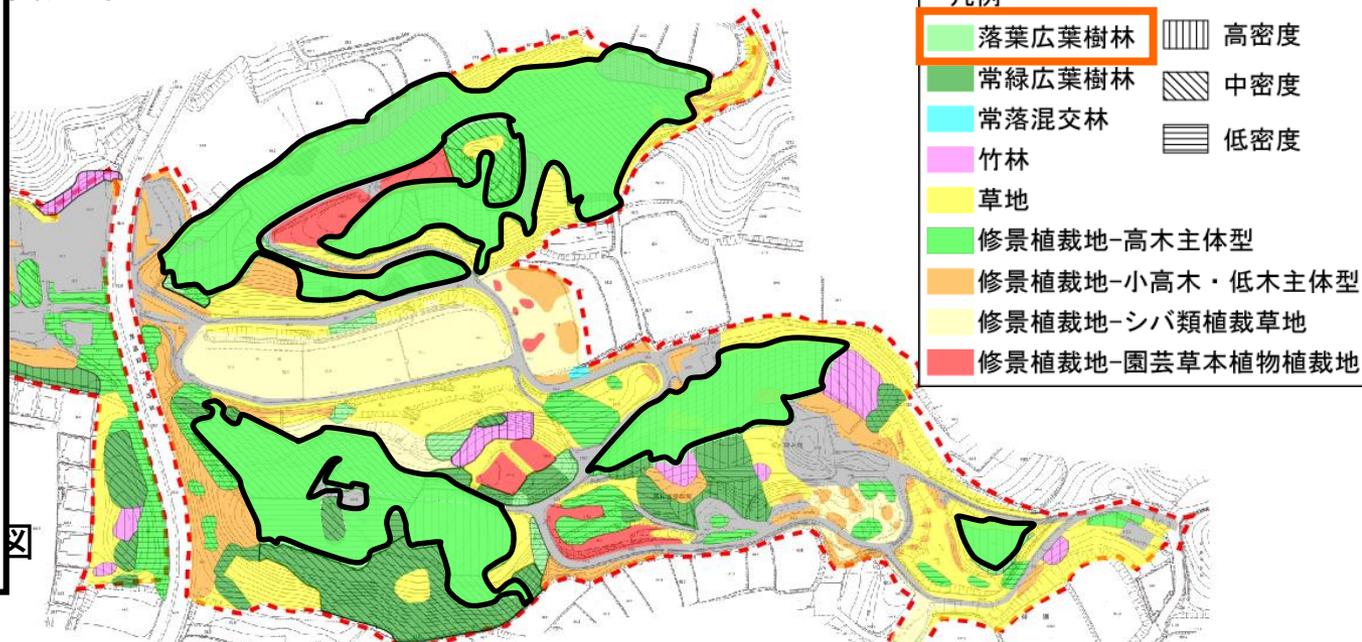
管理されたケヤキ・エノキ等の見られる修景樹林の林内

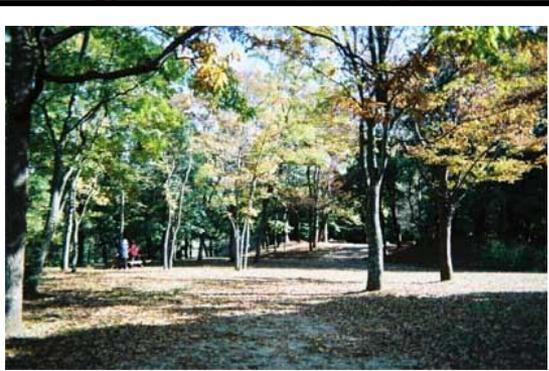


シイ・カシ林が優占する常緑広葉樹林の外観



密度分布図

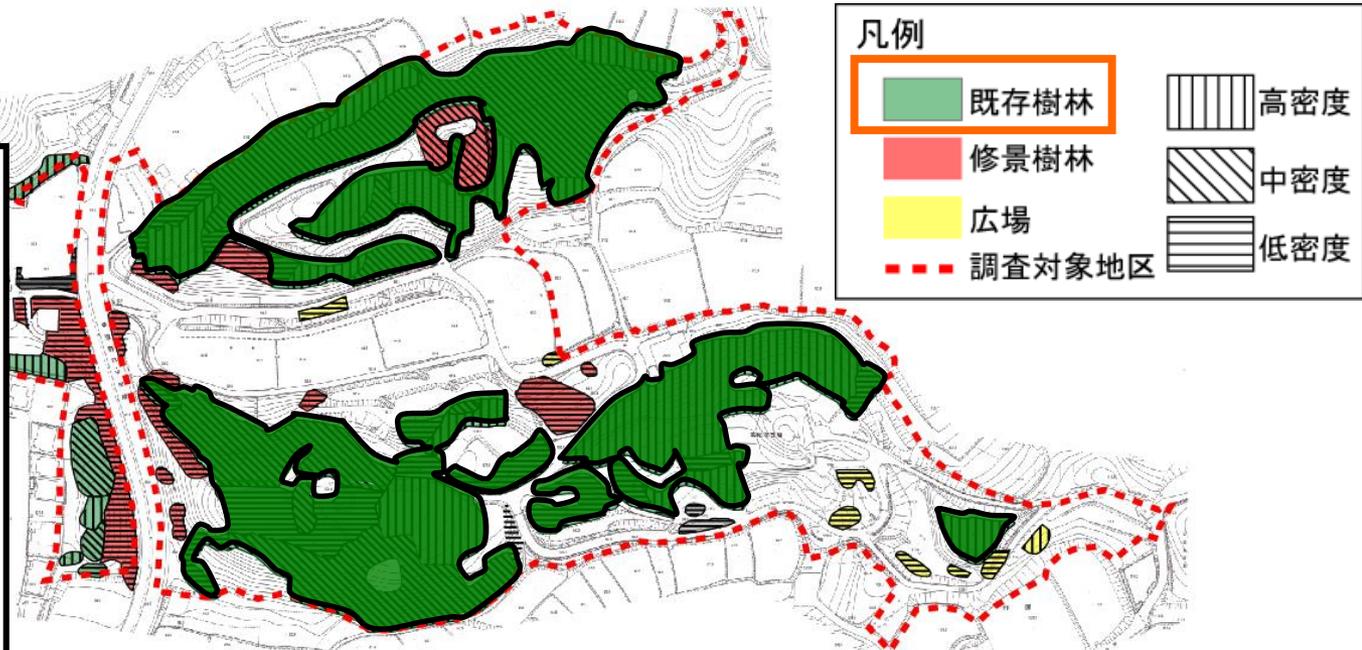




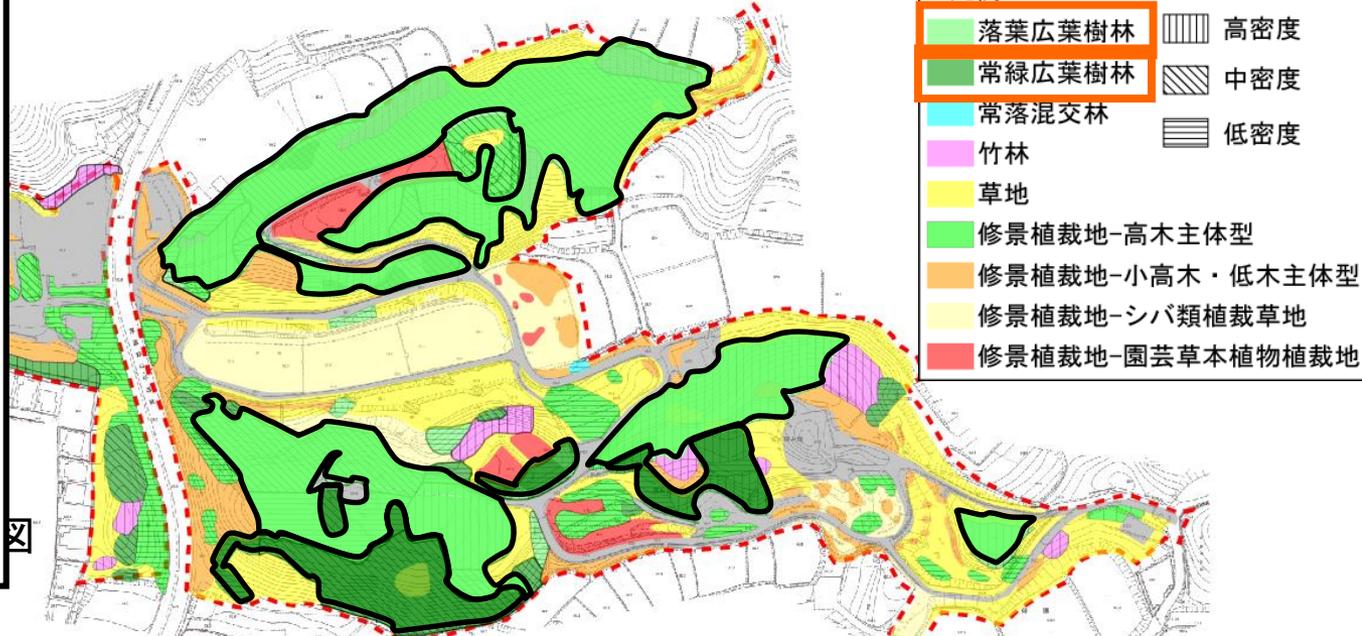
クヌギ・コナラ林が優占する  
落葉広葉樹林の林内



シイ・カシ林が優占する  
常緑広葉樹林の外観



度分布図





土地利用ゾーン毎の樹林密度分布図



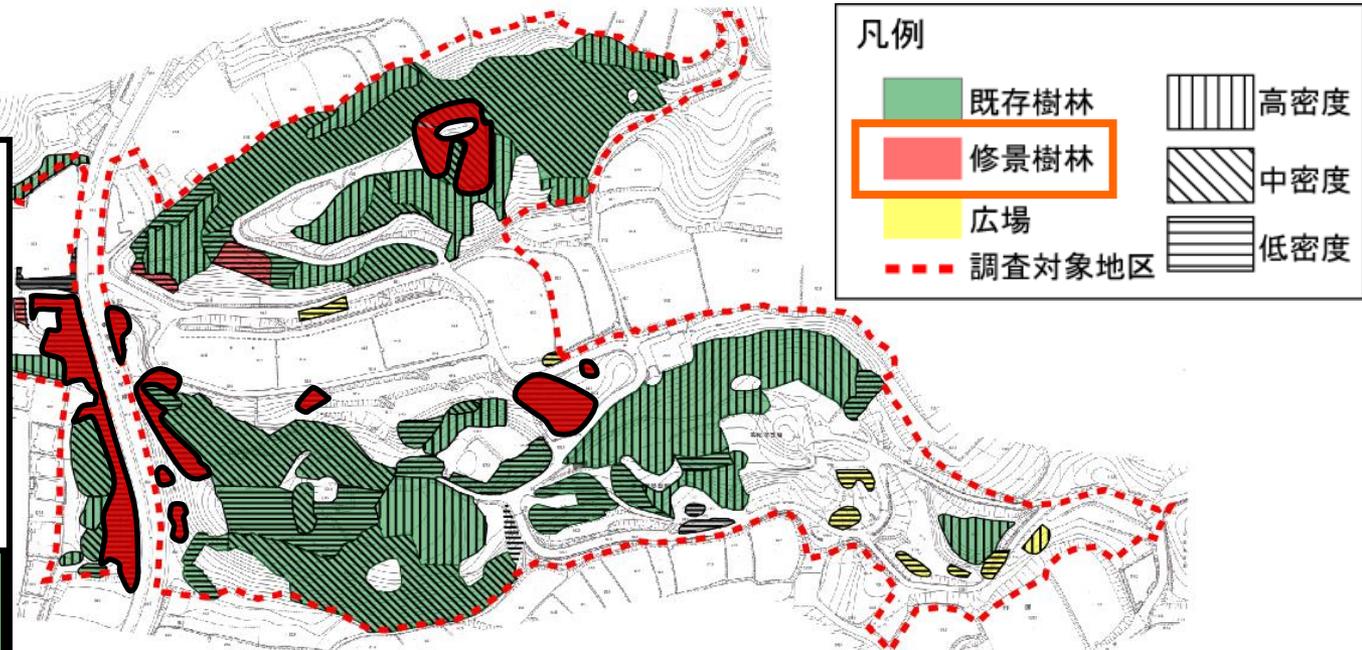
相観植生および樹林密度分布図



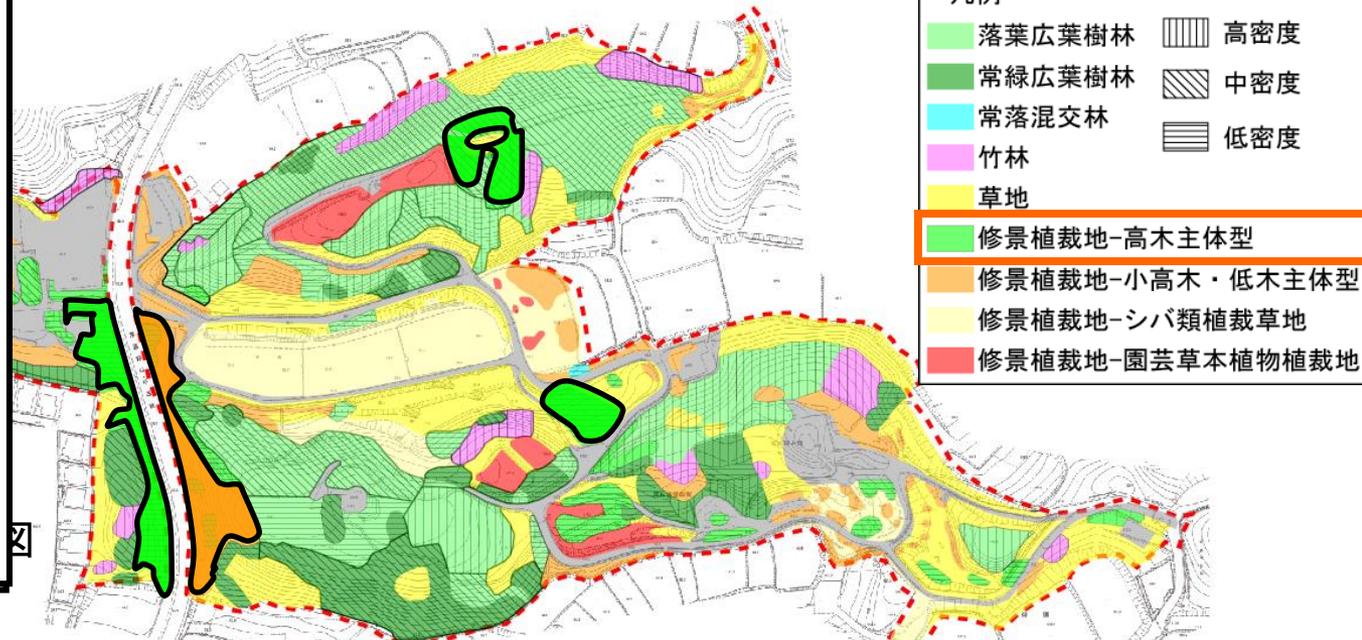
管理されたケヤキ・エノキ等の見られる修景樹林の林内



低木とともに管理されている修景樹林の外観

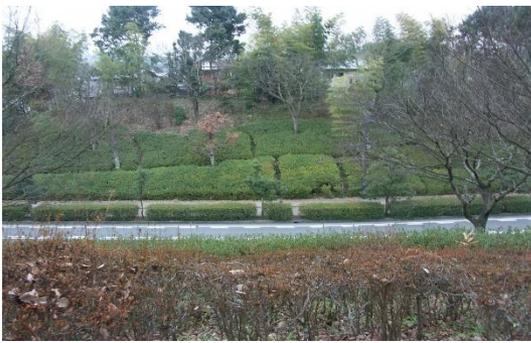


密度分布図

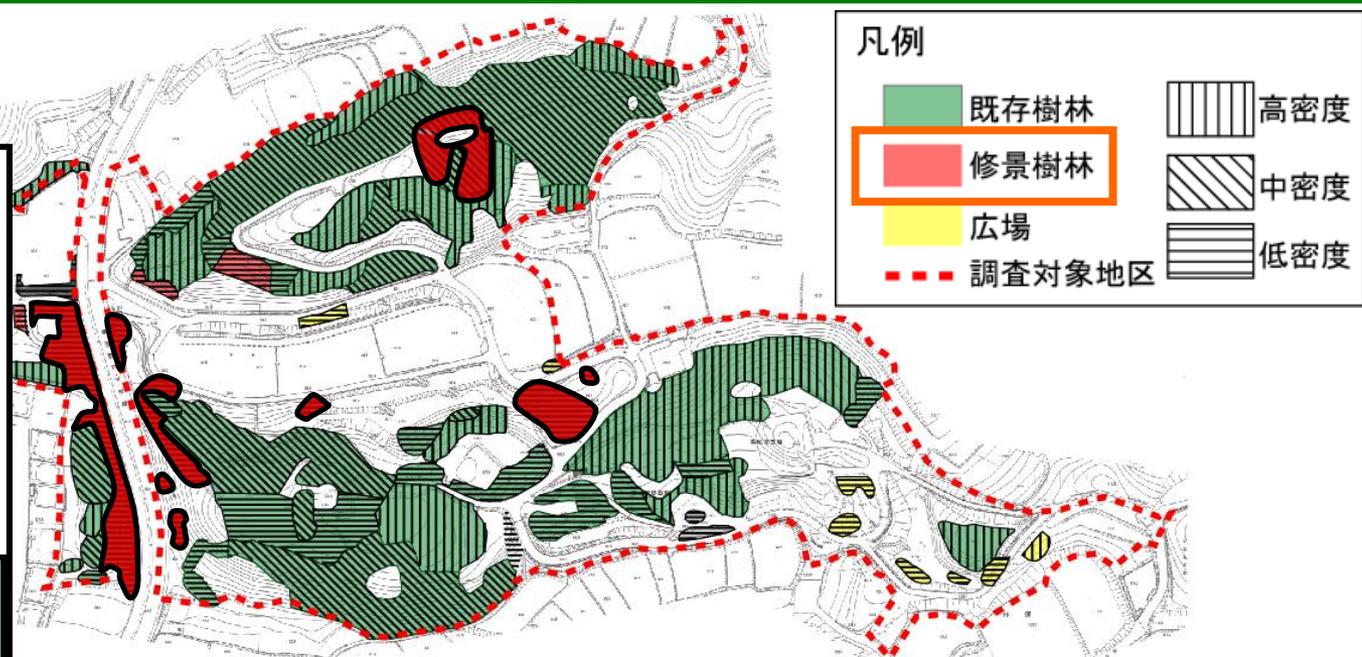




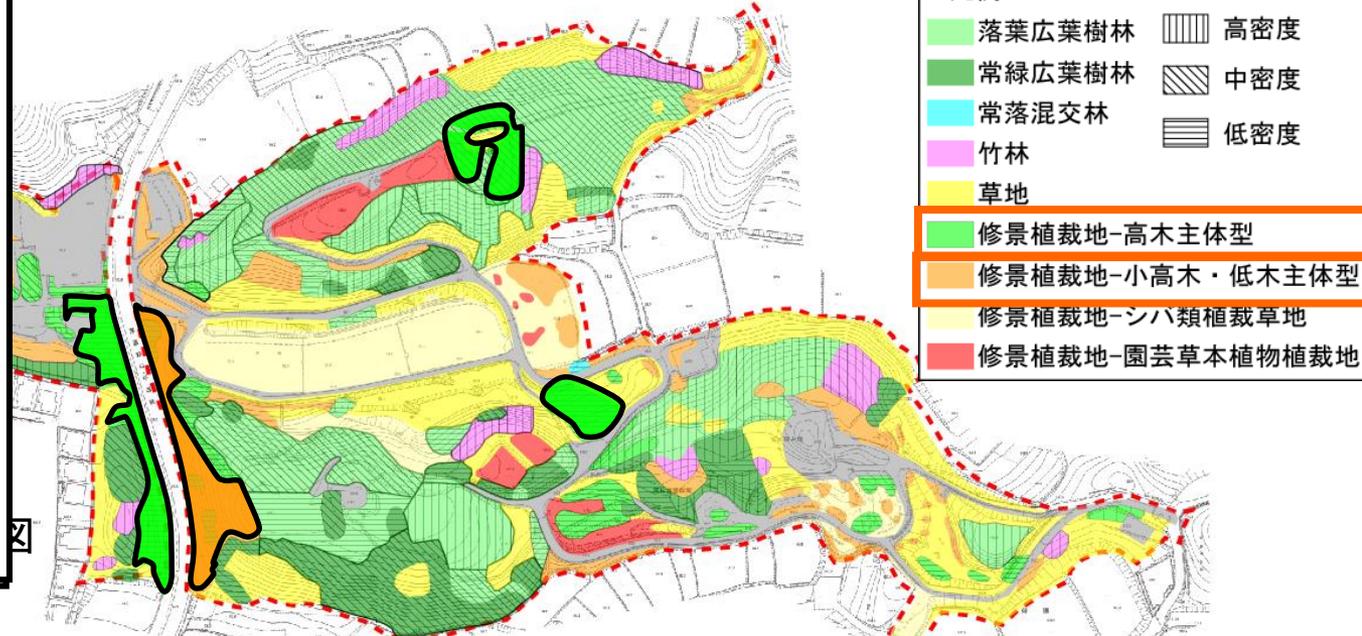
管理されたケヤキ・エノキ等の見られる修景樹林の林内



低木とともに管理されている修景樹林の外観



密度分布図



■調査方法:写真投影法 調査時期:平成17年11月~12月

・被験者:明日香村住民10名、来訪者10名、造園職に関わる専門家5名の計25名

被験者にカメラの配布

調査対象地区内や周辺を巡りながら好きな景観もしくは気になる景観を撮影。

→  
カメラの回収

現像した写真を提示しながらヒアリング調査

撮影した写真から  
撮影場所(視点場)、  
撮影対象(視対象)を特定(計625枚)

出典:平成17年度国営飛鳥歴史公園景観評価検討業務報告書

## ■調査対象景の特定

視点場と視対象の特定された625枚の景観写真

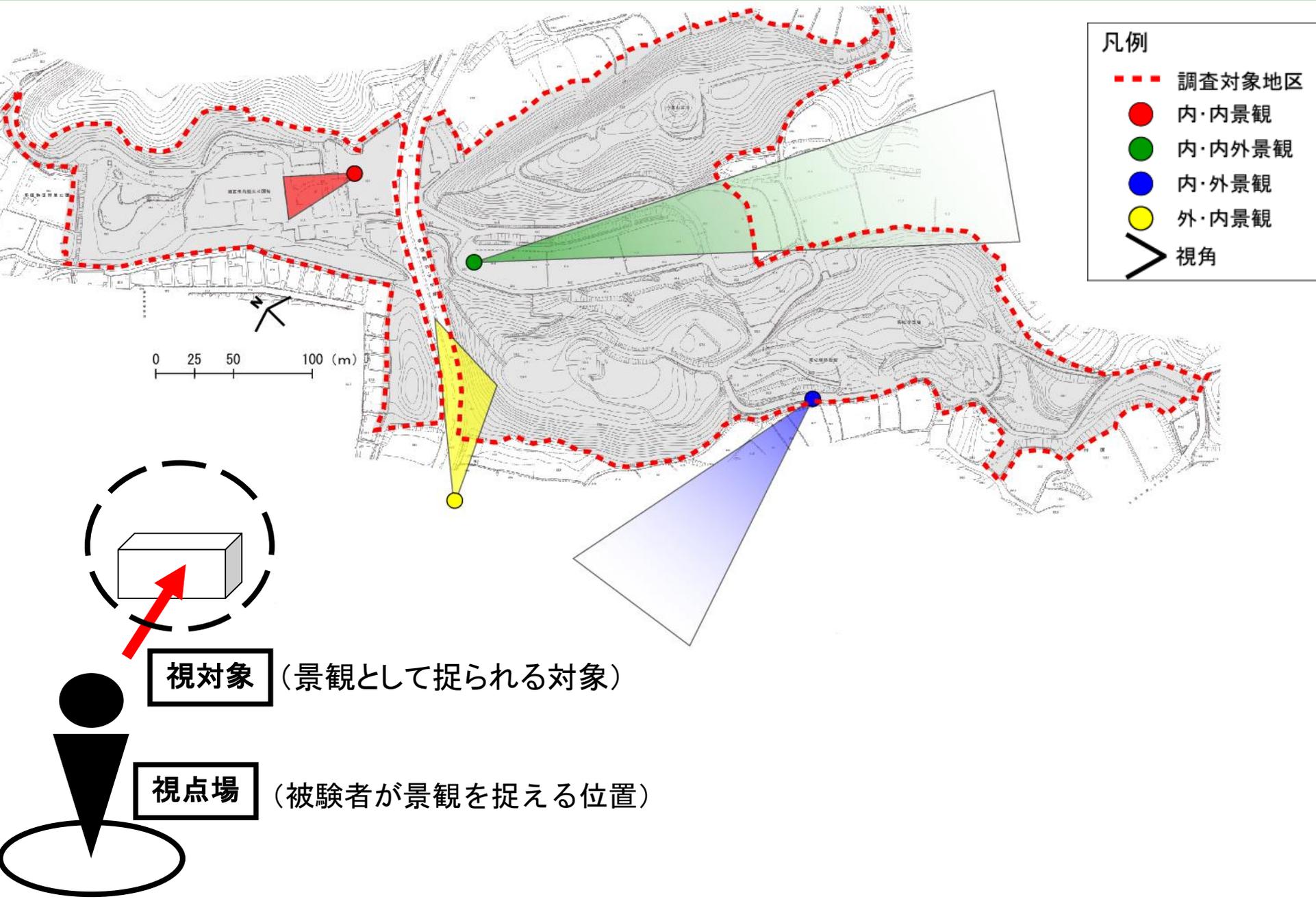


好きな景観写真のみを491枚特定



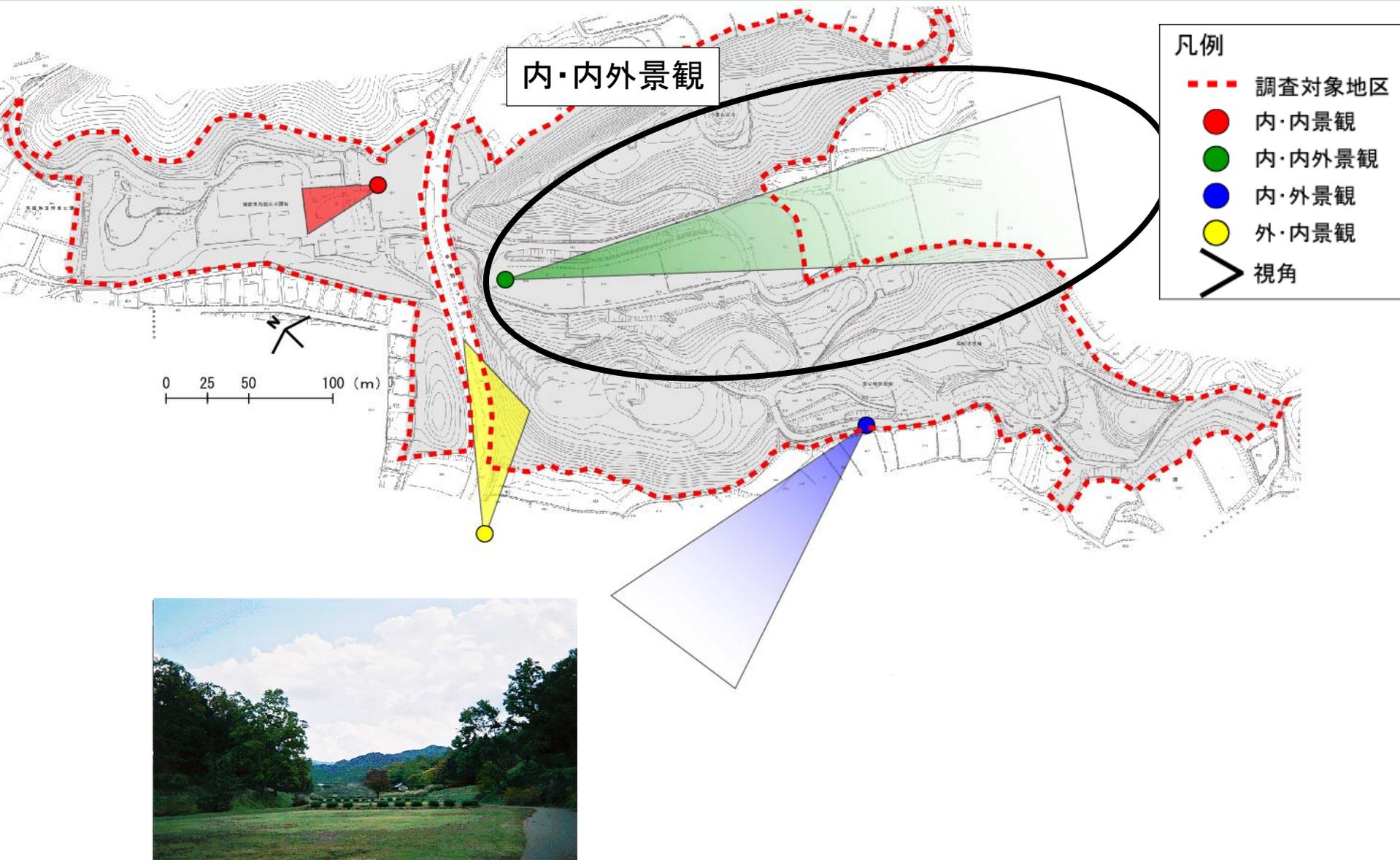
複数の被験者が同じ視点場から同じ視対象を捉えた景観写真に注目し、調査対象景69景を特定

# 調査対象景の分類 3章:好まれる景観の景観特性



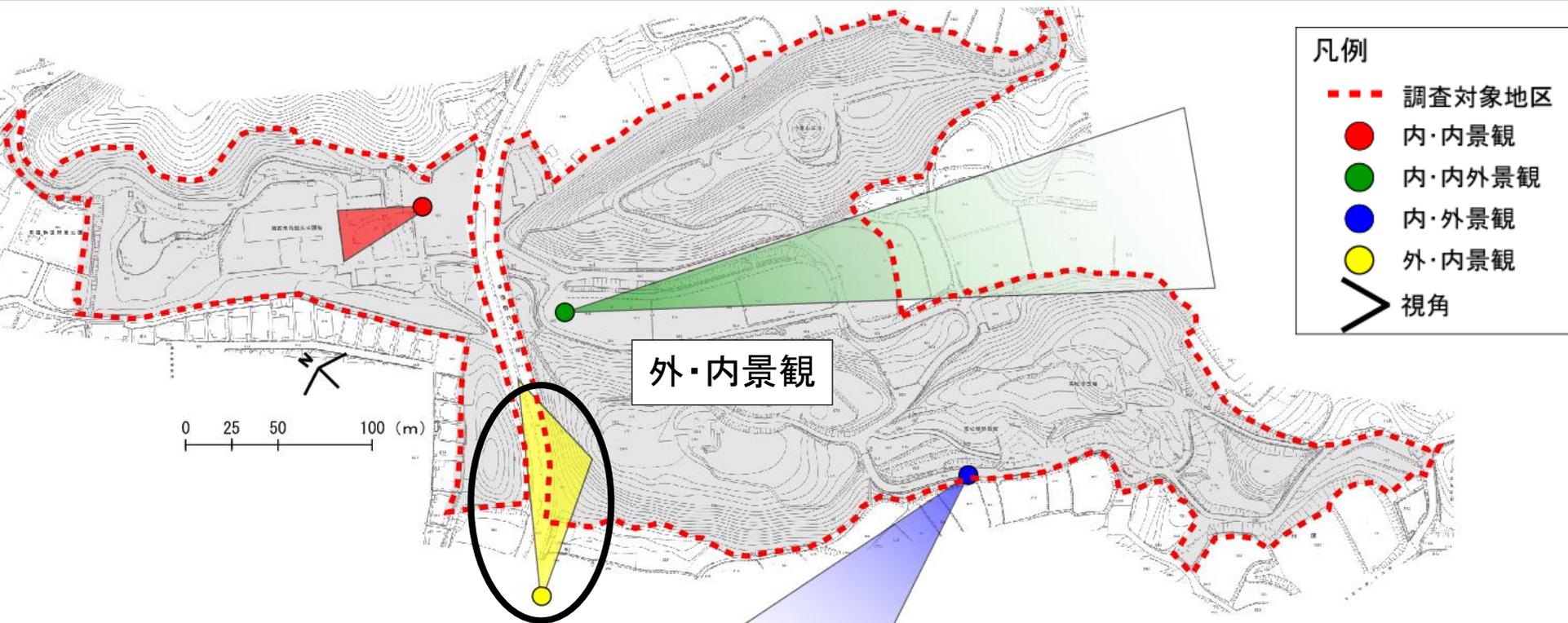


# 調査対象景の分類 3章:好まれる景観の景観特性





# 調査対象景の分類 3章:好まれる景観の景観特性



# 調査対象景の分類 3章:好まれる景観の景観特性



## ■調査対象景

内・内景観・・・視点場34箇所:視対象40景

内・内外景観・・・視点場15箇所:視対象17景

内・外景観・・・視点場7箇所:視対象7景

外・内景観・・・視点場5箇所:視対象5景

# 調査対象景の分類 3章:好まれる景観の景観特性



## ■調査対象景

内・内景観・・・視点場34箇所:視対象40景

内・内外景観・・・視点場15箇所:視対象17景

内・外景観・・・視点場7箇所:視対象7景

外・内景観・・・視点場5箇所:視対象5景

# 調査対象景の分類 3章:好まれる景観の景観特性



## ■調査対象景

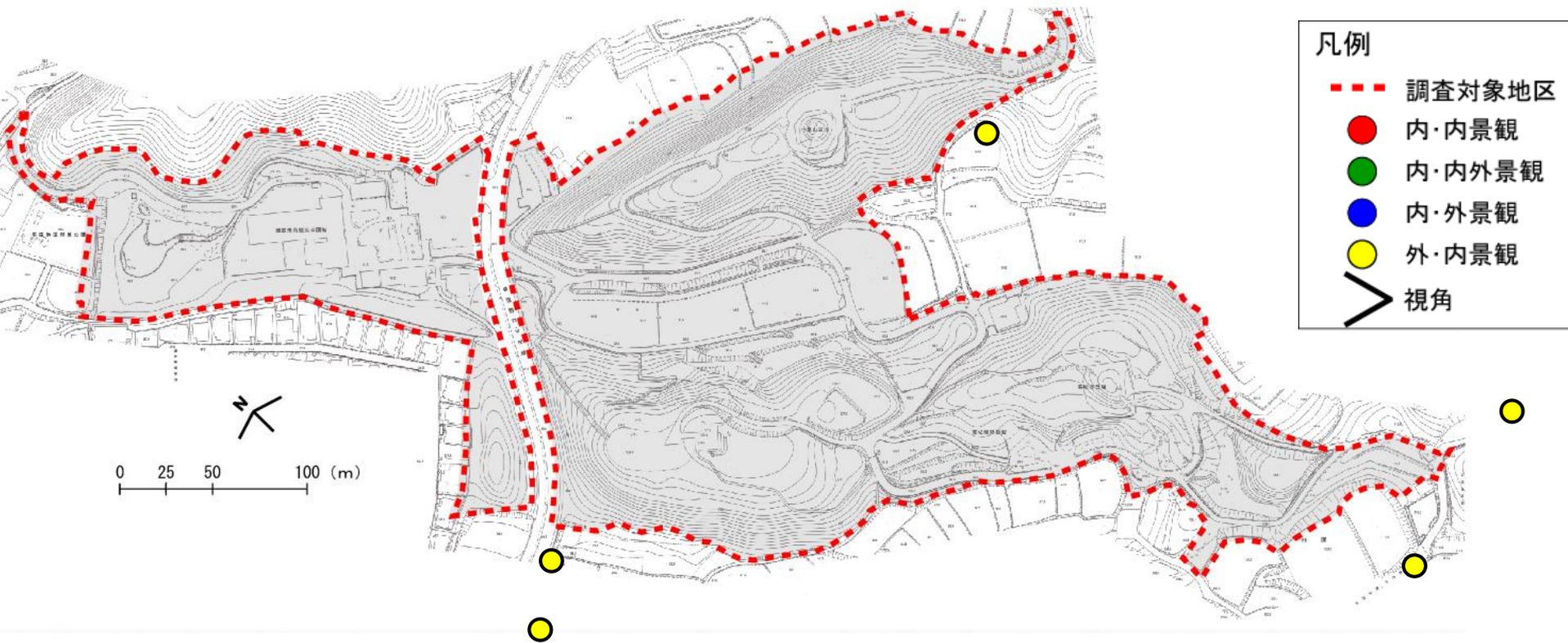
内・内景観・・・視点場34箇所:視対象40景

内・内外景観・・・視点場15箇所:視対象17景

内・外景観・・・視点場7箇所:視対象7景

外・内景観・・・視点場5箇所:視対象5景

# 調査対象景の分類 3章:好まれる景観の景観特性



## ■調査対象景

- 内・内景観・・・視点場34箇所:視対象40景
- 内・内外景観・・・視点場15箇所:視対象17景
- 内・外景観・・・視点場7箇所:視対象7景
- 外・内景観・・・視点場5箇所:視対象5景

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

## 内・内外景観(15箇所)

## 内・外景観(7箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面・・・・・・・9箇所(26.5%)

### 視点場分布

谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・5箇所(71.4%)

### 単位面積当たりの出現数

頂部斜面・・・・・19.5箇所/ha  
 頂部平坦面・・・7.8箇所/ha

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・14.3箇所/ha  
 頂部平坦面・・・4.9箇所/ha

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・・・14.3箇所/ha

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面・・・・・・・9箇所(26.5%)

### 単位面積当たりの出現数

頂部斜面・・・・・19.5箇所/ha  
 頂部平坦面・・・7.8箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

### 視点場分布

谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・14.3箇所/ha  
 頂部平坦面・・・4.9箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・5箇所(71.4%)

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・・・14.3箇所/ha

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面・・・・・・・9箇所(26.5%)

### 単位面積当たりの出現数

頂部斜面・・・・・19.5箇所/ha  
 頂部平坦面・・・7.8箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

### 視点場分布

谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・14.3箇所/ha  
 頂部平坦面・・・4.9箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・5箇所(71.4%)

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・・・14.3箇所/ha

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面……………9箇所(26.5%)

### 単位面積当たりの出現数

頂部斜面…………19.5箇所/ha  
 頂部平坦面……7.8箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

### 視点場分布

谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地…………14.3箇所/ha  
 頂部平坦面……4.9箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面……5箇所(71.4%)

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地…………14.3箇所/ha

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

**視点場分布**  
 上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面……………9箇所(26.5%)

**単位面積当たりの出現数**  
 頂部斜面…………19.5箇所/ha  
 頂部平坦面……7.8箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

**視点場分布**  
 谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

**単位面積当たりの出現数**  
 谷頭凹地…………14.3箇所/ha  
 頂部平坦面……4.9箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

**視点場分布**  
 上部谷壁斜面……5箇所(71.4%)

**単位面積当たりの出現数**  
 谷頭凹地…………14.3箇所/ha

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

## 内・内外景観(15箇所)

## 内・外景観(7箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面・・・・・・・9箇所(26.5%)

### 視点場分布

谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・5箇所(71.4%)

### 単位面積当たりの出現数

頂部斜面・・・・・19.5箇所/ha  
 頂部平坦面・・・7.8箇所/ha

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・14.3箇所/ha  
 頂部平坦面・・・4.9箇所/ha

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・・・14.3箇所/ha

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

## 内・内外景観(15箇所)

## 内・外景観(7箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面・・・・・・9箇所(26.5%)

### 視点場分布

谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・5箇所(71.4%)

### 単位面積当たりの出現数

頂部斜面・・・・19.5箇所/ha  
 頂部平坦面・・・7.8箇所/ha

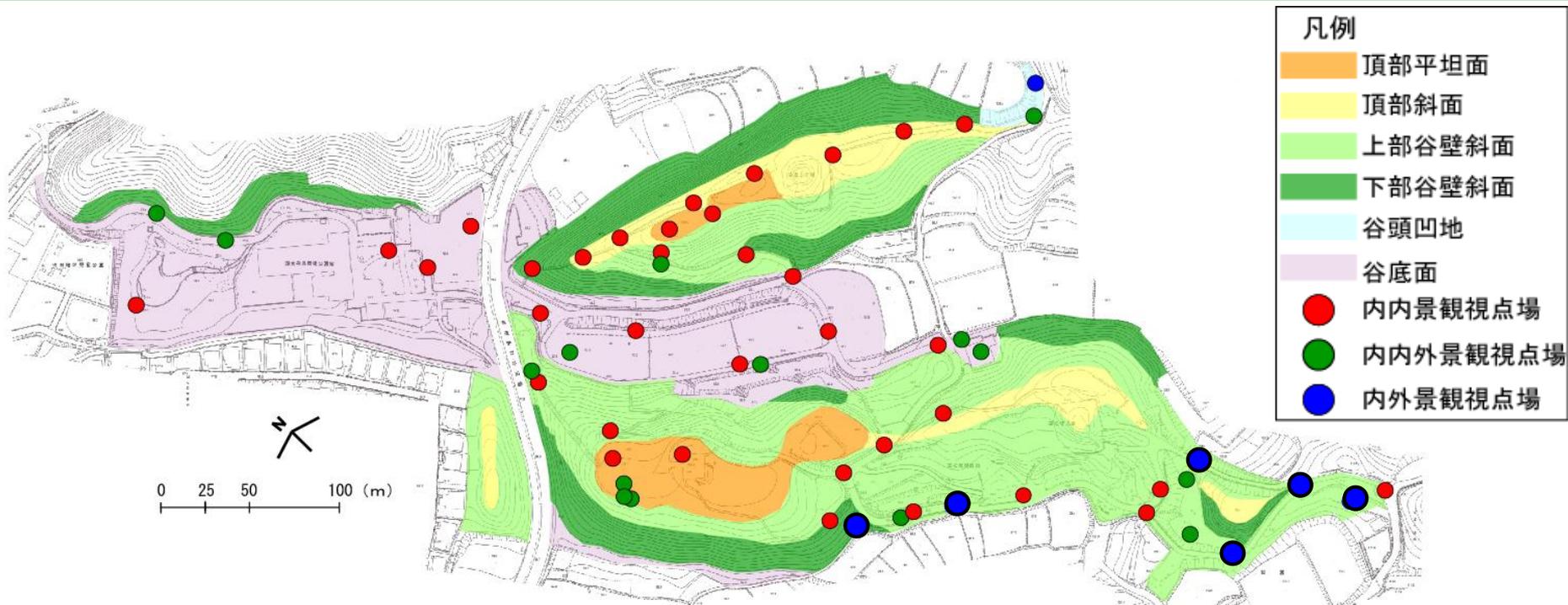
### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・14.3箇所/ha  
 頂部平坦面・・・4.9箇所/ha

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・14.3箇所/ha

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

## 内・内外景観(15箇所)

## 内・外景観(7箇所)

**視点場分布**  
 上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面……………9箇所(26.5%)

**単位面積当たりの出現数**  
 頂部斜面…………19.5箇所/ha  
 頂部平坦面……7.8箇所/ha

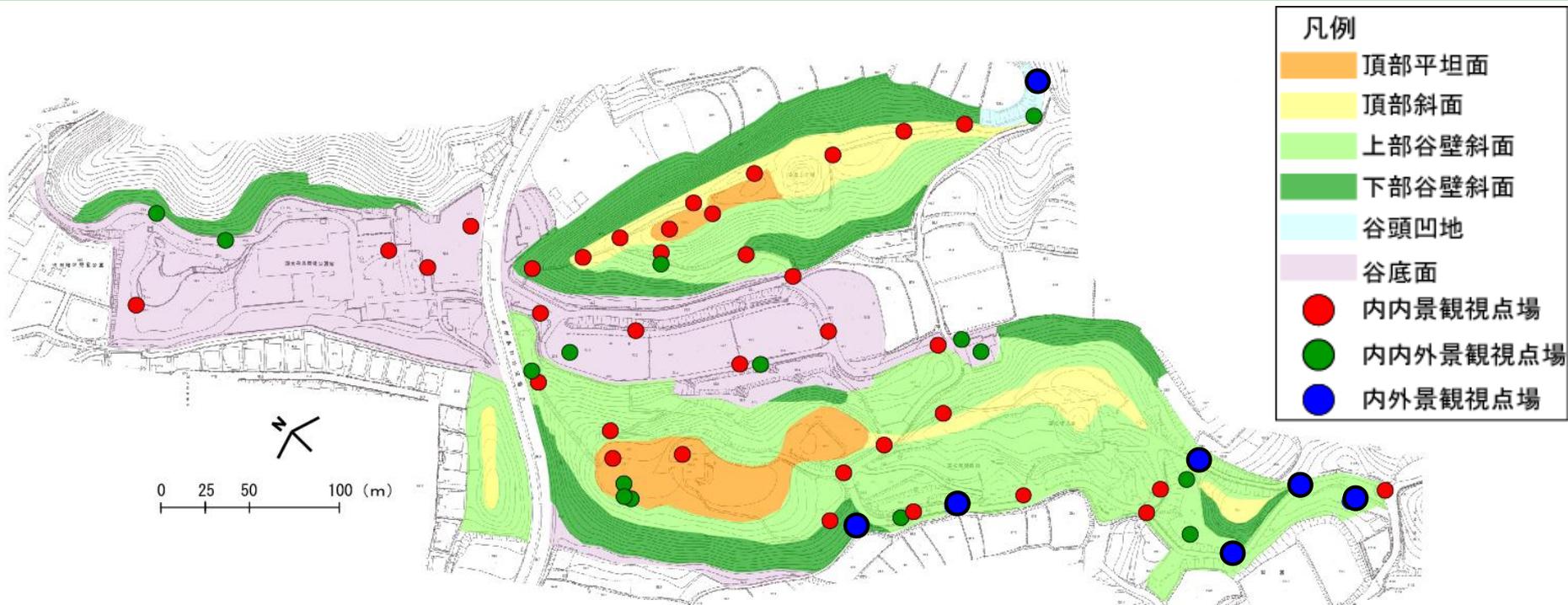
**視点場分布**  
 谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

**単位面積当たりの出現数**  
 谷頭凹地…………14.3箇所/ha  
 頂部平坦面……4.9箇所/ha

**視点場分布**  
 上部谷壁斜面……5箇所(71.4%)

**単位面積当たりの出現数**  
 谷頭凹地…………14.3箇所/ha

# 地形分類別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 頂部平坦面
  - 頂部斜面
  - 上部谷壁斜面
  - 下部谷壁斜面
  - 谷頭凹地
  - 谷底面
  - 内内景観視点場
  - 内内外景観視点場
  - 内外景観視点場

## 内・内景観(34箇所)

## 内・内外景観(15箇所)

## 内・外景観(7箇所)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・11箇所(32.4%)  
 谷底面・・・・・・・9箇所(26.5%)

### 視点場分布

谷底面が7箇所(46.7%)  
 上部谷壁斜面5箇所(33.3%)

### 視点場分布

上部谷壁斜面・・・5箇所(71.4%)

### 単位面積当たりの出現数

頂部斜面・・・・・19.5箇所/ha  
 頂部平坦面・・・7.8箇所/ha

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・14.3箇所/ha  
 頂部平坦面・・・4.9箇所/ha

### 単位面積当たりの出現数

谷頭凹地・・・・・・・14.3箇所/ha

# 土地利用ゾーン別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



## 内・内景観(34箇所)

### 視点場分布

園路・・・27箇所(79.4%)

### 単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・・24.3箇所/ha

公園施設ゾーン・・・2.9箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

### 視点場分布

園路・・・・・・・8箇所(53.3%)

広場ゾーン・・・4箇所(26.7%)

### 単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・7.2箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

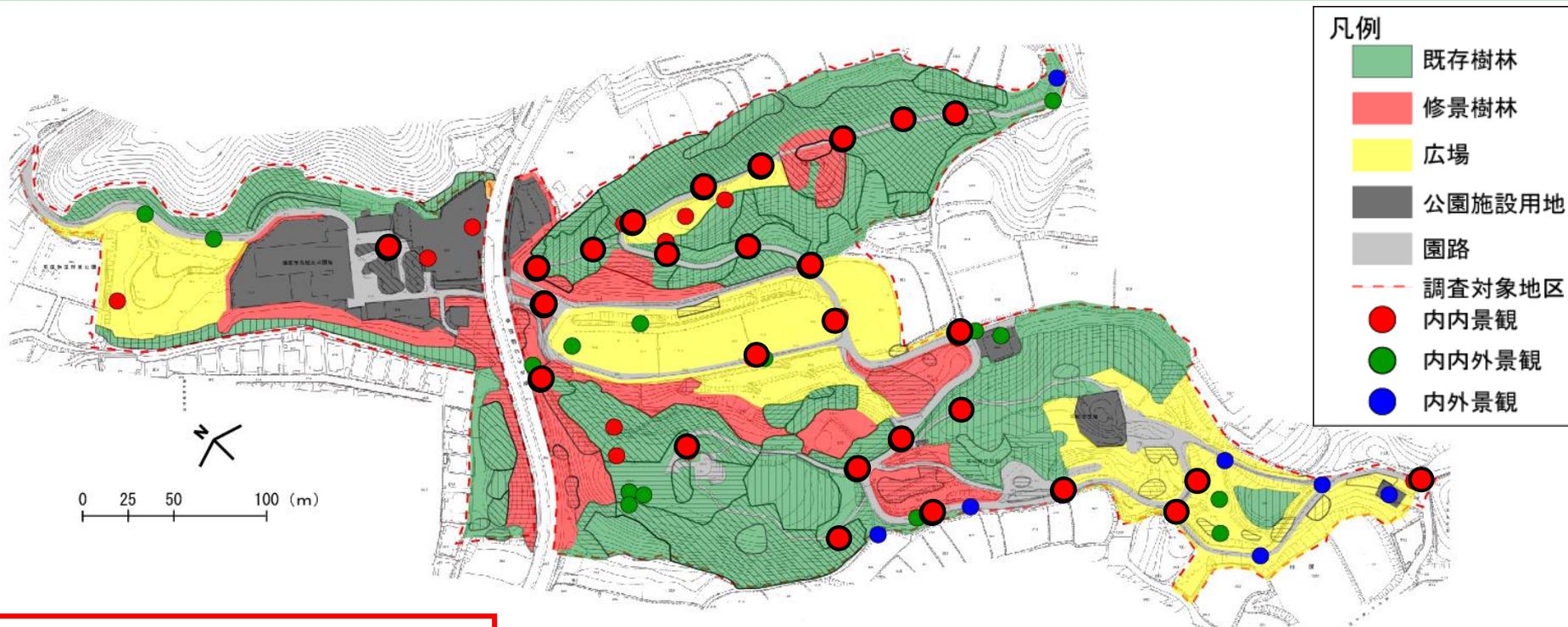
### 視点場分布

園路・・・・・・・4箇所(57.1%)

### 単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・3.6箇所/ha

# 土地利用ゾーン別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 既存樹林
  - 修景樹林
  - 広場
  - 公園施設用地
  - 園路
  - 調査対象地区
  - 内内景観
  - 内内外景観
  - 内外景観

## 内・内景観(34箇所)

視点場分布

園路・・・27箇所(79.4%)

単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・・24.3箇所/ha

公園施設ゾーン・・・2.9箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

視点場分布

園路・・・・・・・8箇所(53.3%)

広場ゾーン・・・4箇所(26.7%)

単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・7.2箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

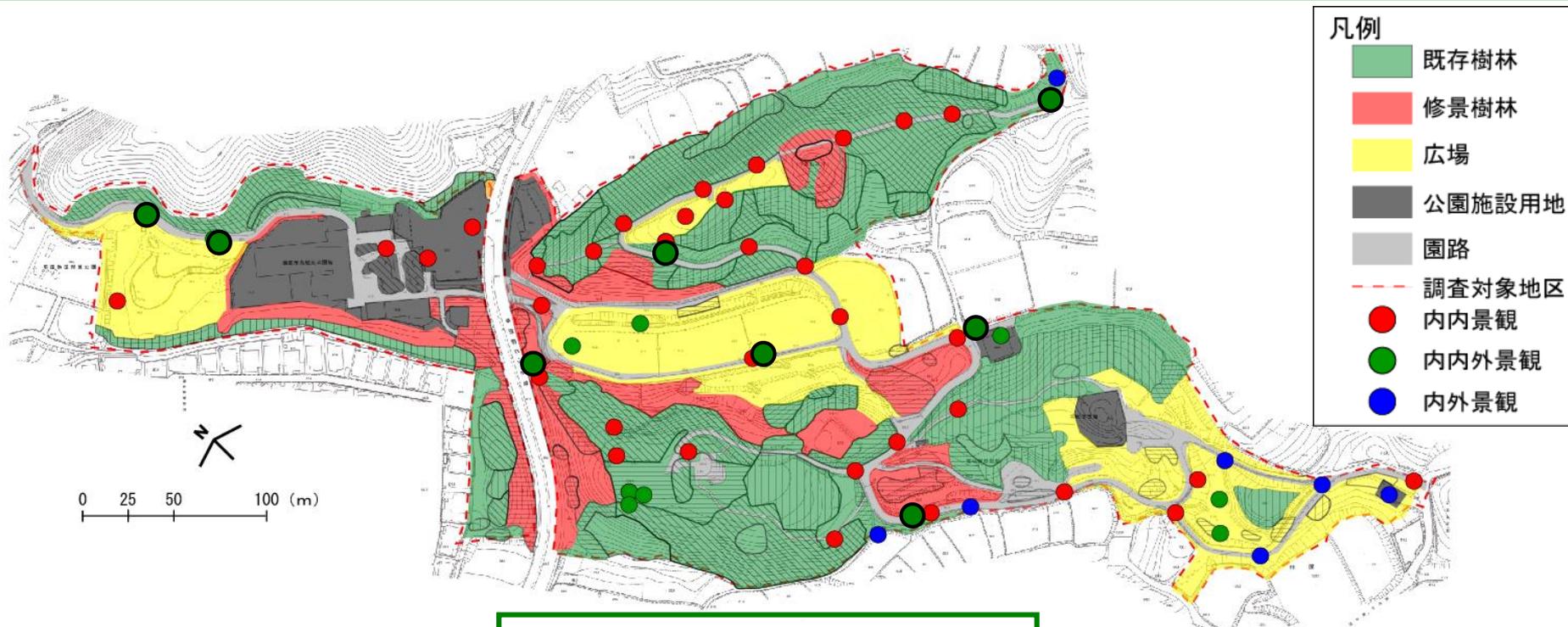
視点場分布

園路・・・・・・・4箇所(57.1%)

単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・3.6箇所/ha

# 土地利用ゾーン別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 既存樹林
  - 修景樹林
  - 広場
  - 公園施設用地
  - 園路
  - 調査対象地区
  - 内内景観
  - 内内外景観
  - 内外景観

## 内・内景観(34箇所)

視点場分布

園路・・・27箇所(79.4%)

単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・・24.3箇所/ha

公園施設ゾーン・・・2.9箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

視点場分布

園路・・・・・・・8箇所(53.3%)

広場ゾーン・・・4箇所(26.7%)

単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・7.2箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

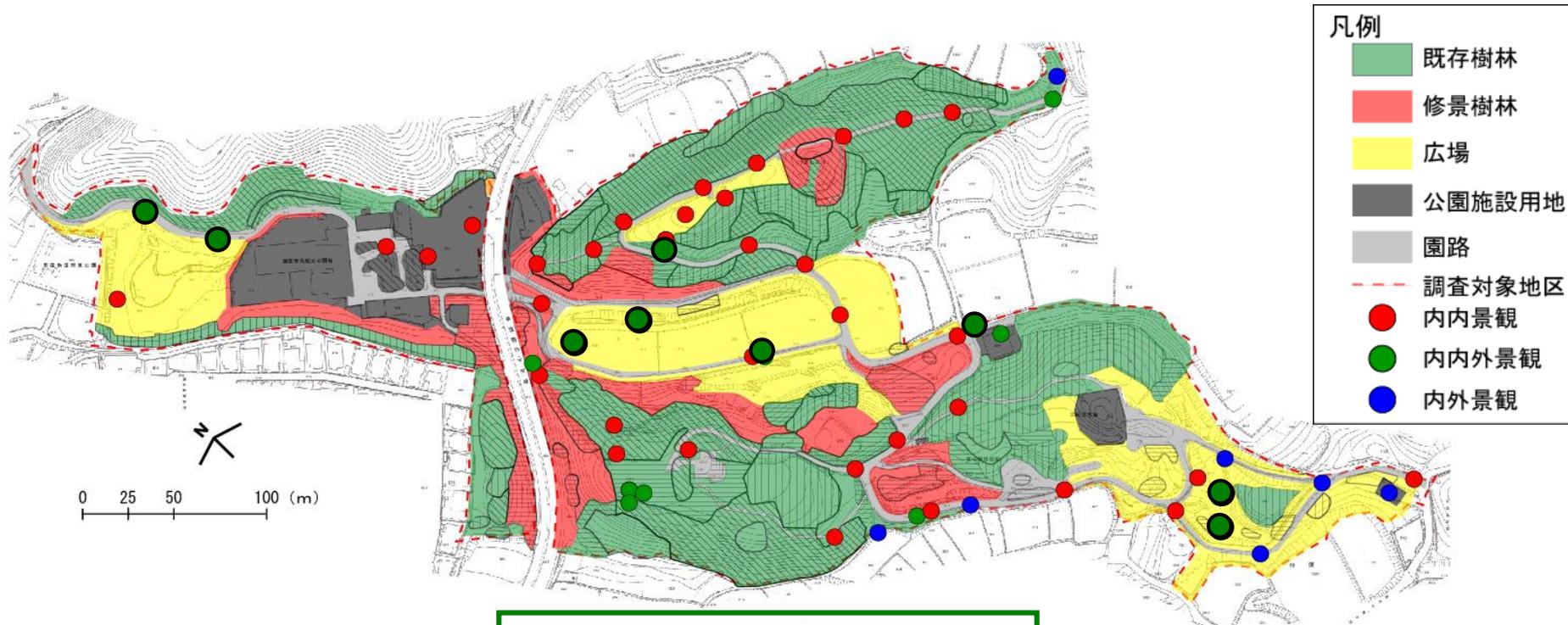
視点場分布

園路・・・・・・・4箇所(57.1%)

単位面積当たりの出現数

園路・・・・・・・3.6箇所/ha

# 土地利用ゾーン別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 既存樹林
  - 修景樹林
  - 広場
  - 公園施設用地
  - 園路
  - 調査対象地区
  - 内内景観
  - 内内外景観
  - 内外景観

## 内・内景観(34箇所)

視点場分布  
園路・・・27箇所(79.4%)

単位面積当たりの出現数  
園路・・・・・・・・24.3箇所/ha  
公園施設ゾーン・・・2.9箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

視点場分布  
園路・・・・・・・8箇所(53.3%)  
広場ゾーン・・・4箇所(26.7%)

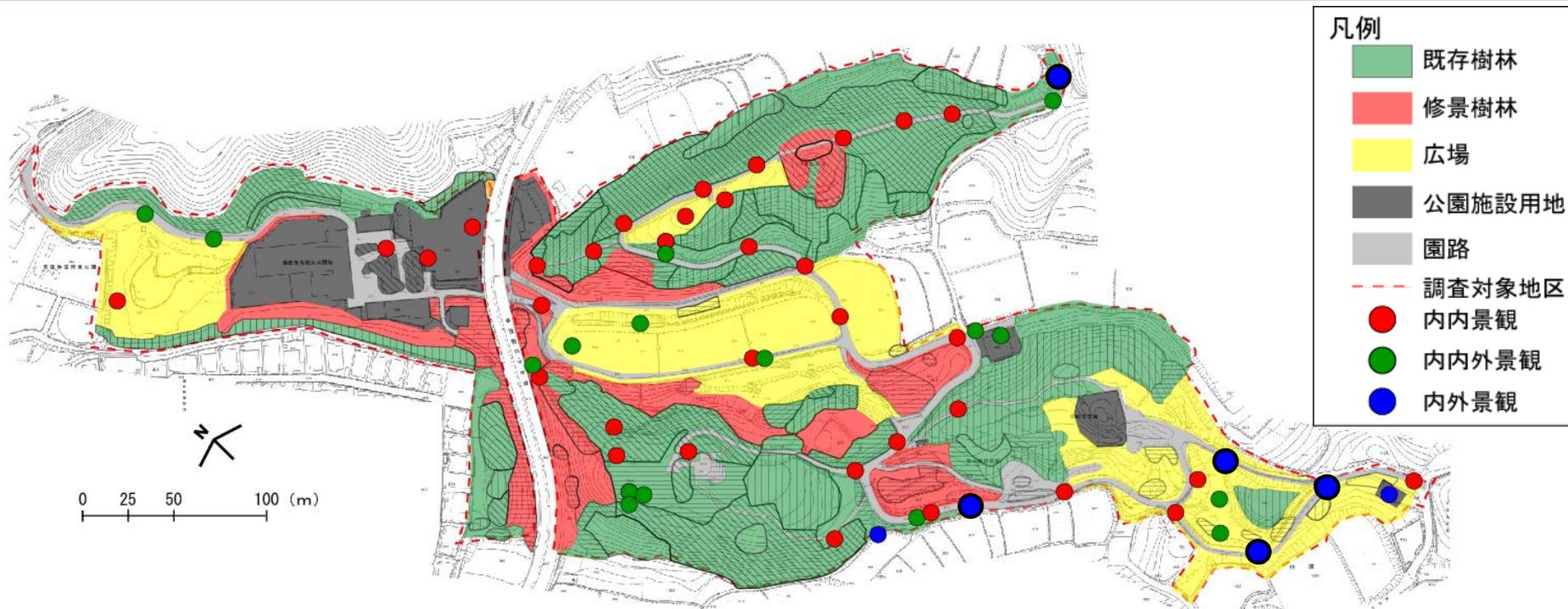
単位面積当たりの出現数  
園路・・・・・・・7.2箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

視点場分布  
園路・・・・・・・4箇所(57.1%)

単位面積当たりの出現数  
園路・・・・・・・3.6箇所/ha

# 土地利用ゾーン別の視点場分布 3-1節:好まれる景観の視点場特性



- 凡例
- 既存樹林
  - 修景樹林
  - 広場
  - 公園施設用地
  - 園路
  - 調査対象地区
  - 内内景観
  - 内内外景観
  - 内外景観

## 内・内景観(34箇所)

**視点場分布**  
 園路・・・27箇所(79.4%)

**単位面積当たりの出現数**  
 園路・・・・・・・・24.3箇所/ha  
 公園施設ゾーン・・・2.9箇所/ha

## 内・内外景観(15箇所)

**視点場分布**  
 園路・・・・・・・8箇所(53.3%)  
 広場ゾーン・・・4箇所(26.7%)

**単位面積当たりの出現数**  
 園路・・・・・・・・7.2箇所/ha

## 内・外景観(7箇所)

**視点場分布**  
 園路・・・・・・・4箇所(57.1%)

**単位面積当たりの出現数**  
 園路・・・・・・・・3.6箇所/ha

・内・内景観(34箇所)を捉えた視点場の単位面積当たりの出現数を見ると、地形分類では頂部斜面19.5箇所/ha、次いで頂部平坦面の7.8箇所/haとなり尾根線上に出現しやすくなっている。土地利用ゾーンでは園路で24.3箇所/haと多い。

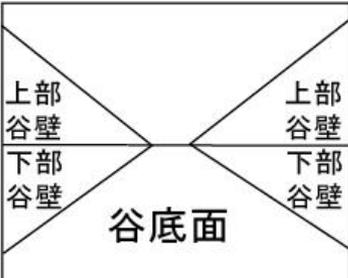
・内・内外景観(15箇所)を見ると、地形分類では谷頭凹地の14.3箇所/haに加え頂部平坦面や谷底面でも多くなっている。土地利用ゾーンでは園路が7.2箇所/haと特に多い。

・内・外景観(7箇所)を見ると地形分類では谷頭凹地が14.3箇所/haと特に多い。土地利用ゾーンでは園路上が3.6箇所/haと最も多い。



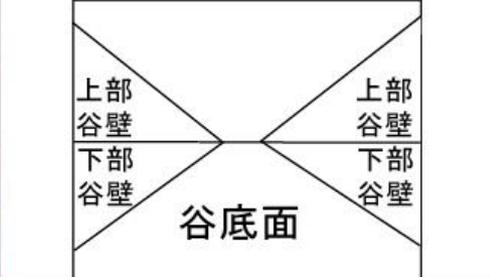
視点場は頂部斜面等の尾根線上や地区の多くを占める上部谷壁斜面や谷底面、園路の分岐点や土地利用ゾーンの境界部分、地区内・外の境界部分で出現しやすいことが明らかとなった。

出現タイプおよび地形の効果

対象景	地形分類の把握	地形分類の出現タイプ	地形分類の効果
			<p>谷底面の広がりと両側の斜面にり領域感が創出され、視角が導びかれる景観が捉えられている。</p>

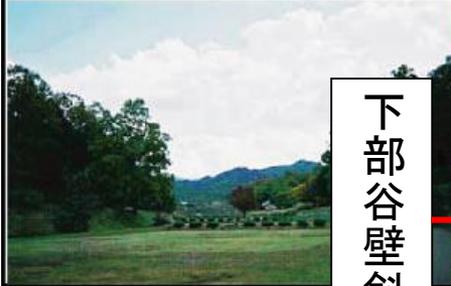
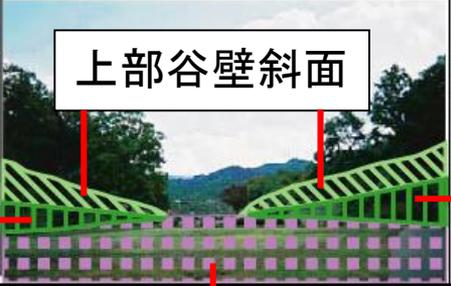
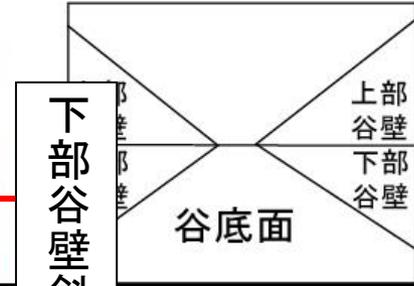
出現タイプおよび地形の効果



対象景	地形分類の把握	地形分類の出現タイプ	地形分類の効果
			<p>谷底面の広がりと両側の斜面にり領域感が創出され、視角が導びかれる景観が捉えられている。</p>

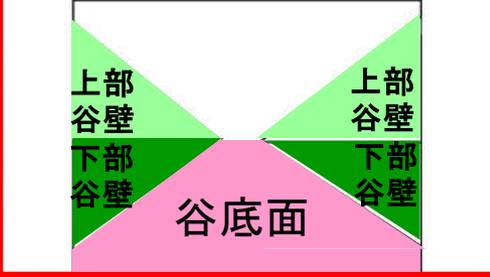
谷底面

出現タイプおよび地形の効果

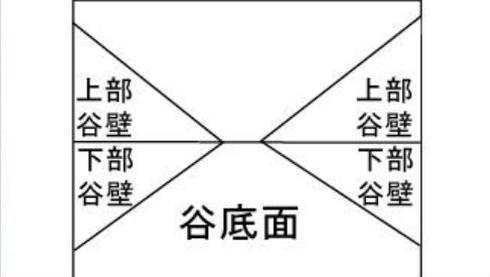
対象景	地形分類の把握	地形分類の出現タイプ	地形分類の効果
			<p>谷底面の広がりと両側の斜面にり領域感が創出され、視角が導びかれる景観が捉えられている。</p>

出現タイプおよび地形の効果



対象景	地形分類の把握	地形分類の出現タイプ	地形分類の効果
			<p>谷底面の広がりと両側の斜面にり領域感が創出され、視角が導びかれる景観が捉えられている。</p>

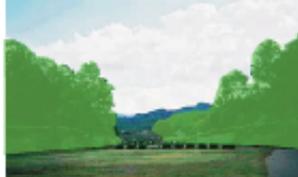
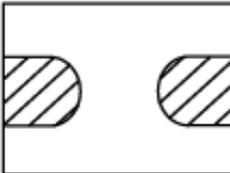
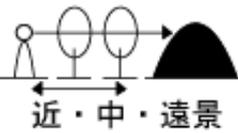
出現タイプおよび地形の効果

対象景	地形分類の把握	地形分類の出現タイプ	地形分類の効果
			<p>谷底面の広がりと両側の斜面にり領域感が創出され、視角が導びかれる景観が捉えられている。</p>

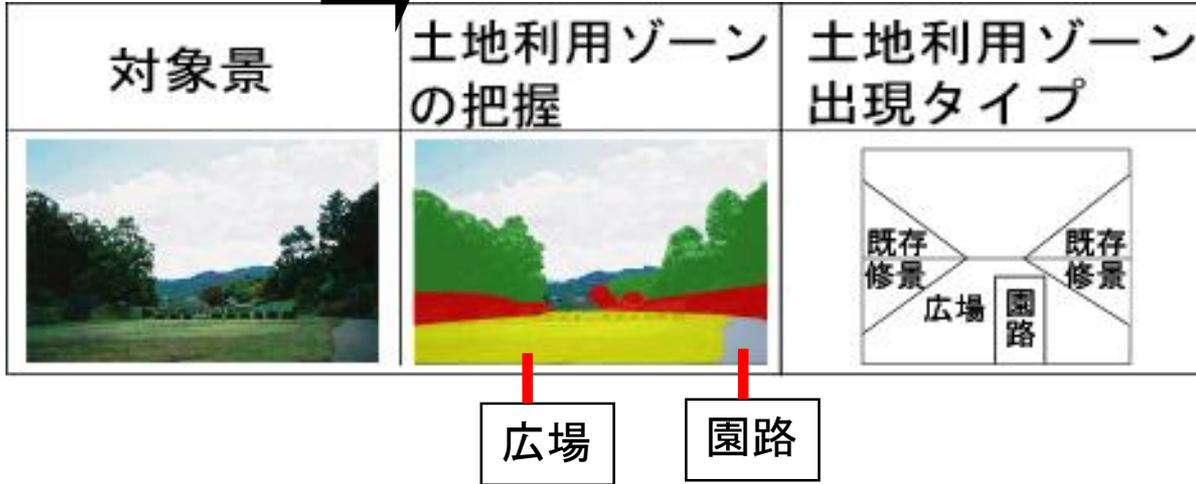
土地利用ゾーン出現  
タイプの把握方法

対象景	土地利用ゾーンの把握	土地利用ゾーン出現タイプ
		

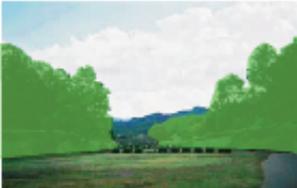
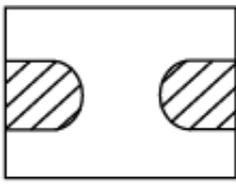
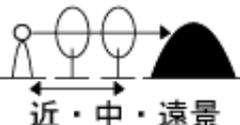
樹林景観プロト  
タイプの把握方法

対象景	樹林の把握	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
			<p>立面</p> 	<p>断面</p> 	<p>中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を發揮している。</p>

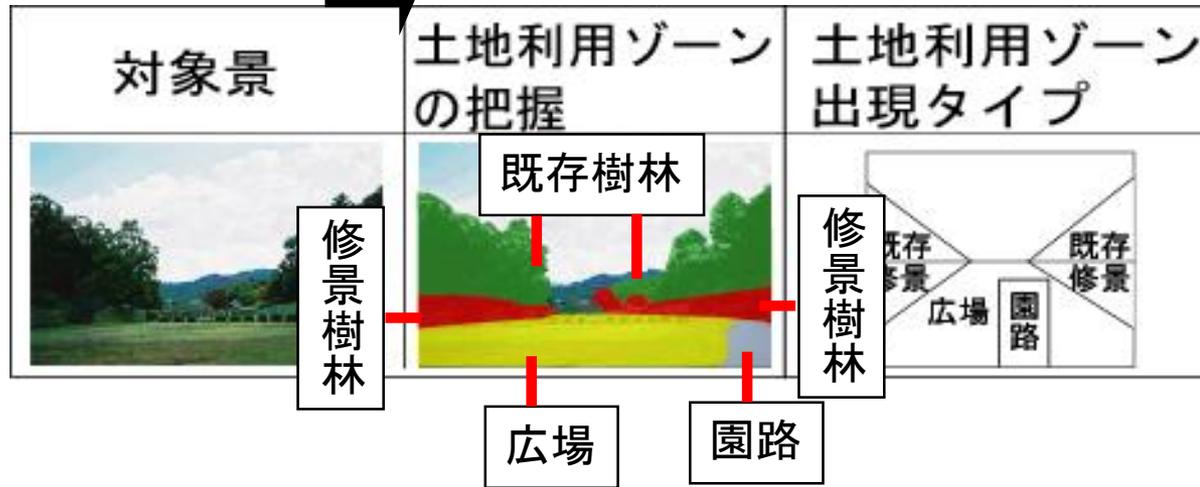
土地利用ゾーン出現タイプの把握方法



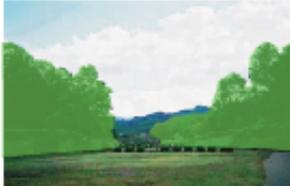
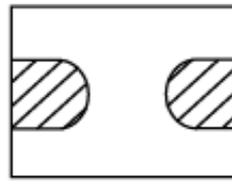
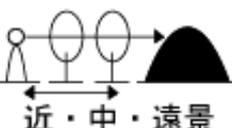
樹林景観プロトタイプの把握方法

対象景	樹林の把握	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
			立面 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。

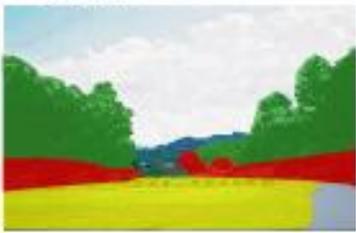
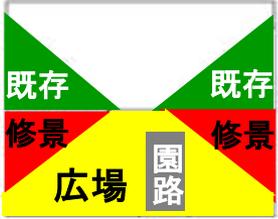
土地利用ゾーン出現タイプの把握方法



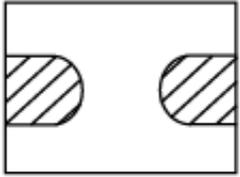
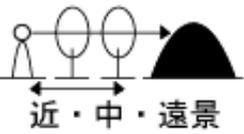
樹林景観プロトタイプの把握方法

対象景	樹林の把握	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
			<p>立面</p> 	<p>断面</p>  <p>近・中・遠景</p>	<p>中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。</p>

土地利用ゾーン出現タイプの把握方法

対象景	土地利用ゾーンの把握	土地利用ゾーン出現タイプ
		

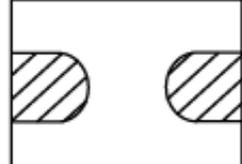
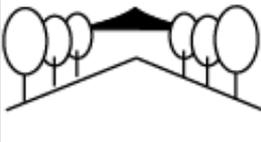
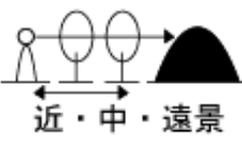
樹林景観プロトタイプの把握方法

対象景	樹林の把握	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ	樹林の効果
			<p>立面</p>  <p>断面</p> 	<p>中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。</p>

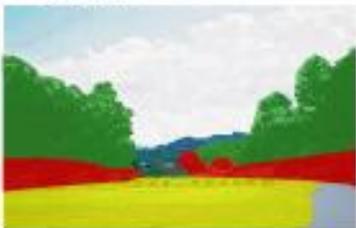
土地利用ゾーン出現  
タイプの把握方法

対象景	土地利用ゾーンの把握	土地利用ゾーン出現タイプ
		

樹林景観プロト  
タイプの把握方法

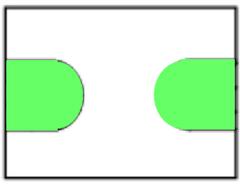
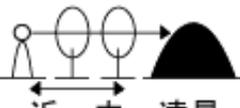
対象景	樹林の把握	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
			<p>立面</p> 	<p>断面</p> 	<p>中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を發揮している。</p>

土地利用ゾーン出現  
タイプの把握方法

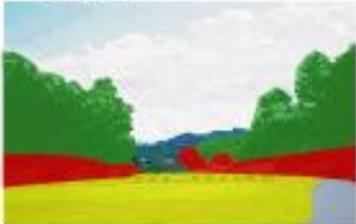
対象景	土地利用ゾーンの把握	土地利用ゾーン出現タイプ
		

樹林景観プロト  
タイプの把握方法

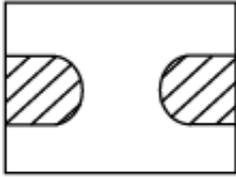


対象景	樹林の把握	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
			立面 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。

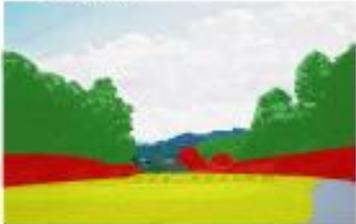
土地利用ゾーン出現  
タイプの把握方法

対象景	土地利用ゾーンの把握	土地利用ゾーン出現タイプ
		

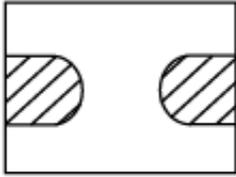
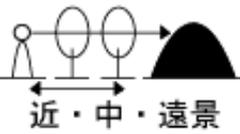
樹林景観プロト  
タイプの把握方法

対象景	樹林の把握	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ	樹林の効果
			 立面 断面 近・中・遠景	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。

土地利用ゾーン出現  
タイプの把握方法

対象景	土地利用ゾーンの把握	土地利用ゾーン出現タイプ
		

樹林景観プロト  
タイプの把握方法

対象景	樹林の把握	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ	樹林の効果
			<p>立面</p>  <p>断面</p> 	<p>中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を發揮している。</p>

土地利用ゾーン出現  
タイプの把握方法

対象景	土地利用ゾーンの把握	土地利用ゾーン出現タイプ
		

既往文献

「前景」、「背景」、「領域感」、「遮蔽」、「ランドマーク」、「シンボル」、「視線の誘導」、「境界」 については中島(2004)

「主景」、「眺望軸」、「奥行あき」、「俯瞰景」、「遠景・中景・近景」 については樋口(1975)

「フレーム」、「遠近感」、「強調」 についてはG.O.ロビネッティ(1990)

「正面性」、「パースペクティブ」 については神谷ら(2000)

# 内・内景観の視対象特性 3-2節: 視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 	IV 天蓋型 	IV・3 		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ		樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
					立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型		IV 5		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型		IV 3		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型		I 10		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型		IV・5		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型		IV・3		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型		I・10		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



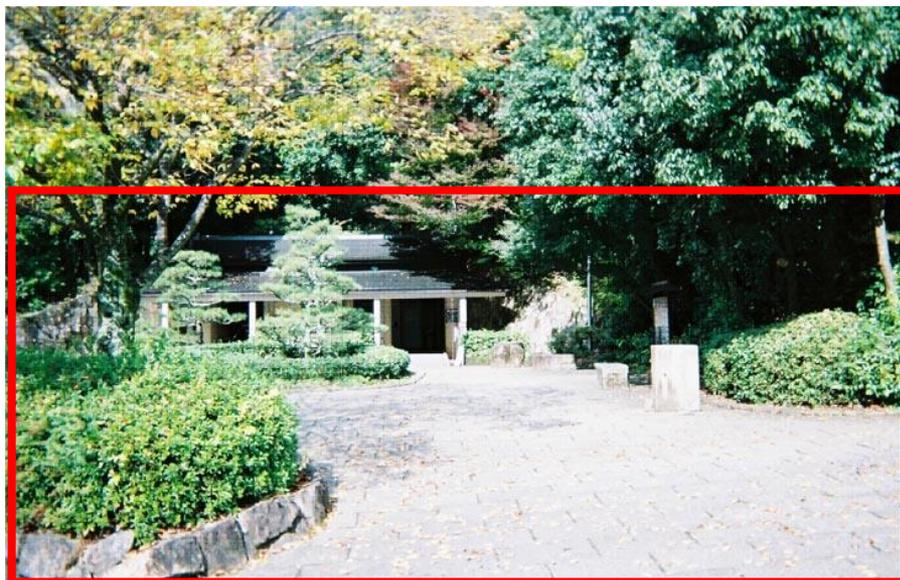
# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型		IV 5		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型		IV 3		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型		I 10		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。

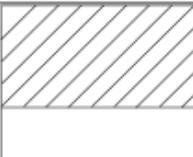
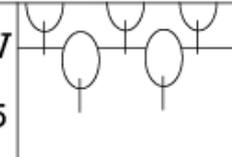
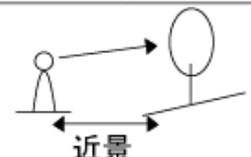
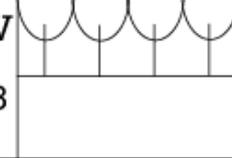
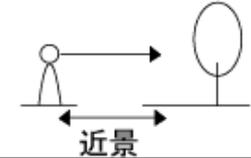
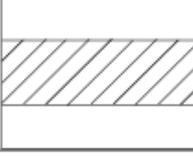
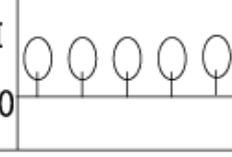
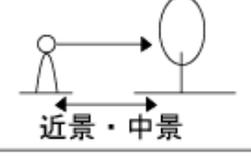


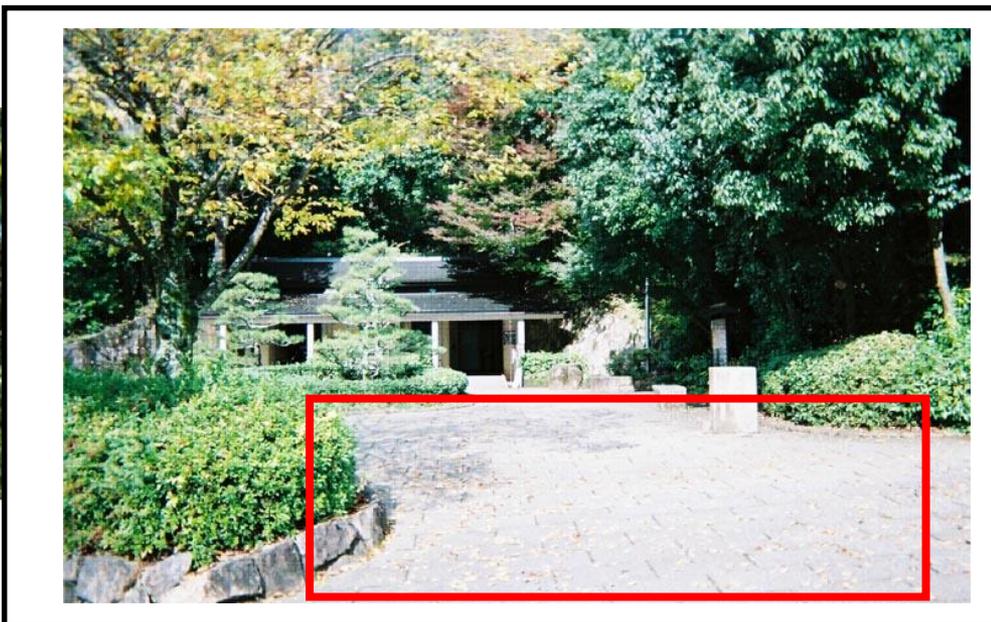
# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型 	IV・3 		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。

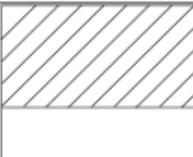
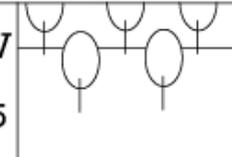
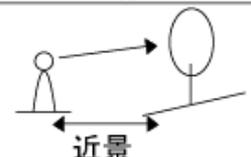
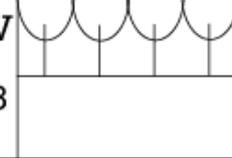
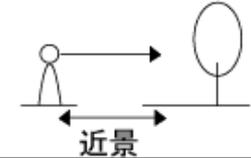
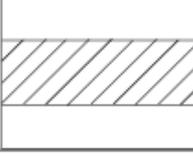
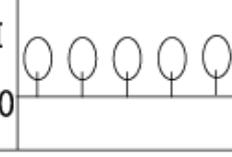
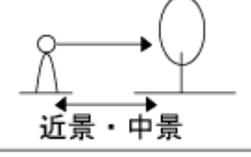


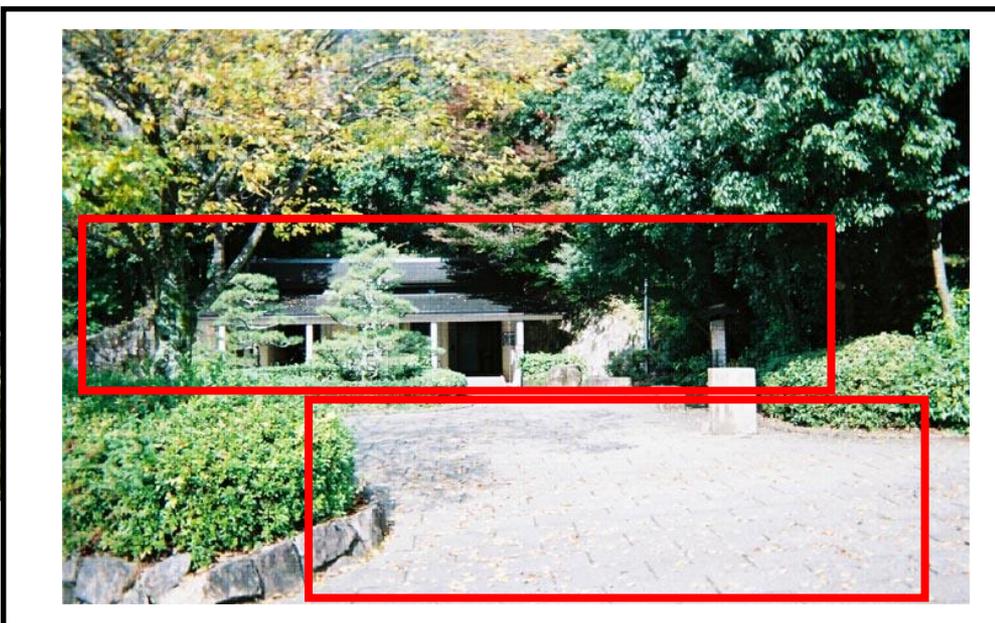
# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 	 近景	手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型 	IV・3 	 近景	近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 	 近景・中景	近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。

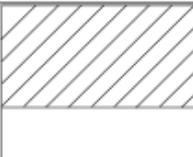
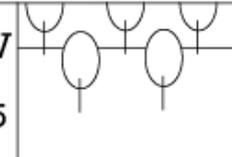
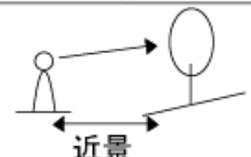
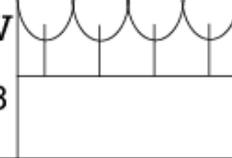
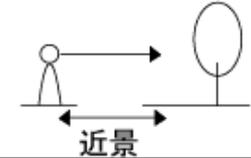
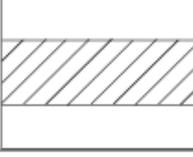
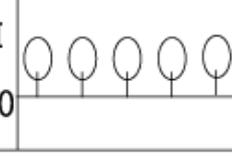
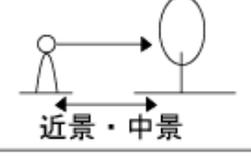


# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 	 近景	手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型 	IV・3 	 近景	近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 	 近景・中景	近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 	 近景	手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型 	IV・3 	 近景	近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 	 近景・中景	近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型		IV 5		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型		IV 3		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型		I 10		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



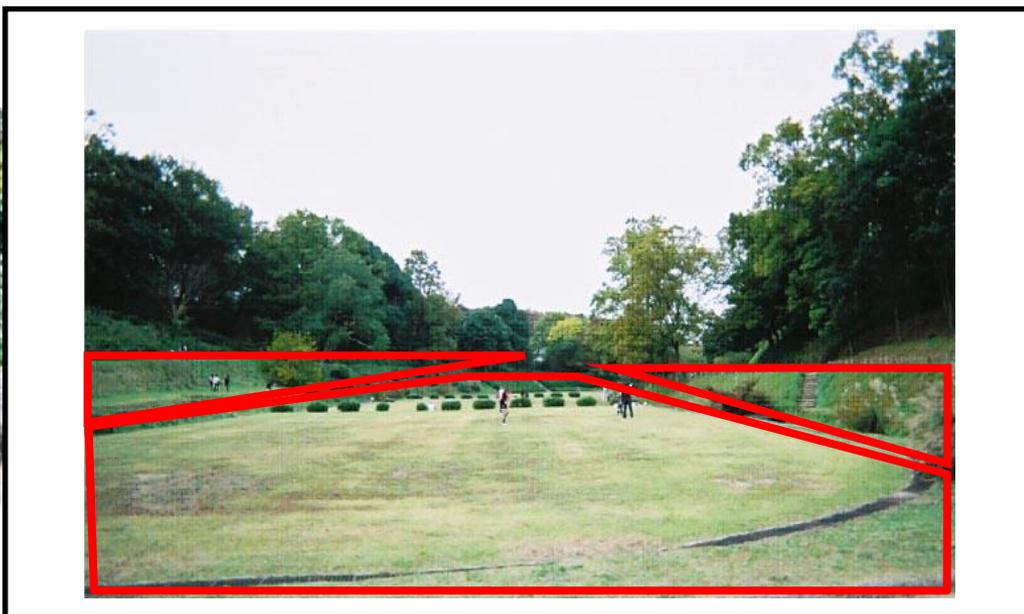
# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 	 近景	手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 	IV 天蓋型 	IV・3 	 近景	近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
 上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 	 近景・中景	近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



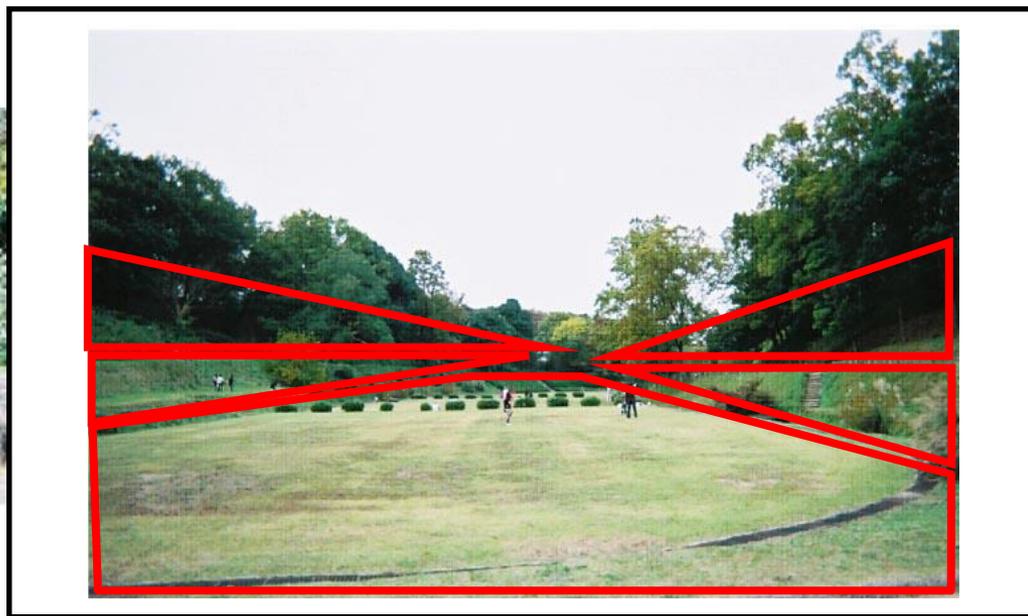
# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型 	IV・3 		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。

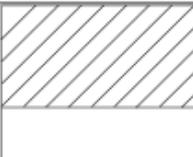
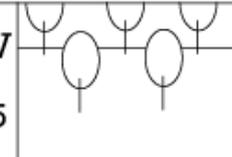
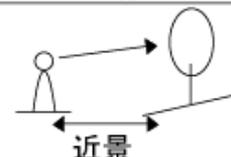
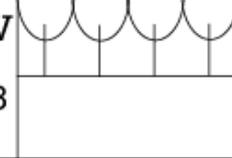
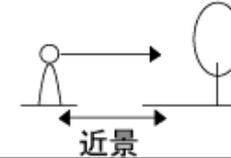
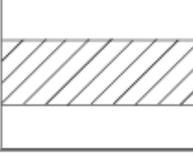
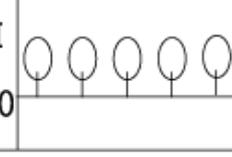
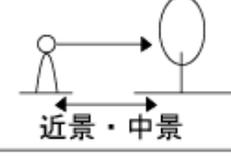


# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 	 近景	手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型 	IV・3 	 近景	近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
 上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 	 近景・中景	近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型 	IV・3 		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



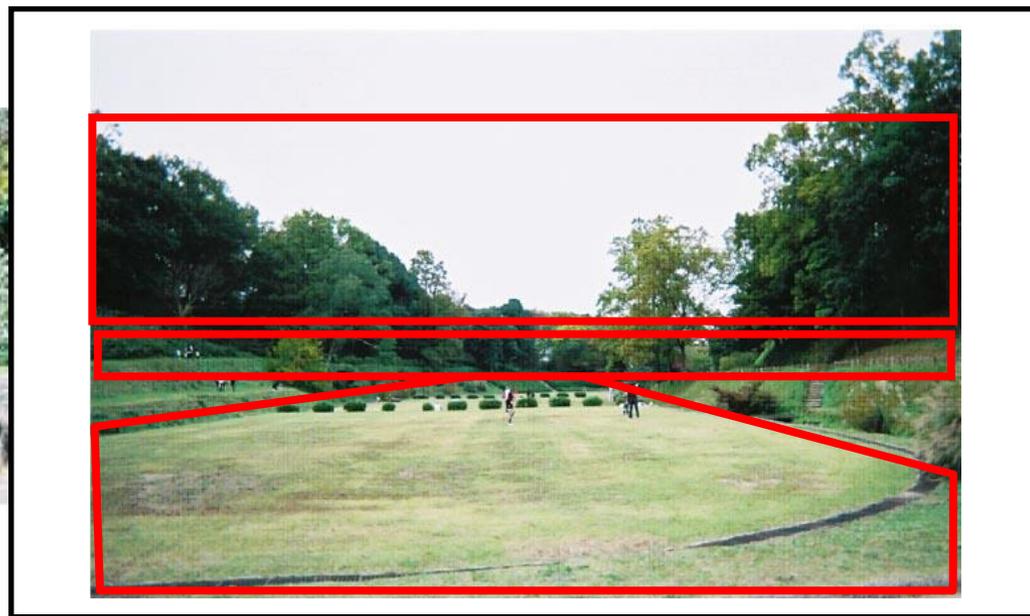
# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型		IV・5		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型		IV・3		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型		I・10		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。

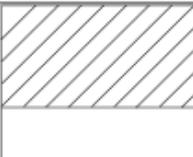
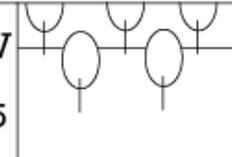
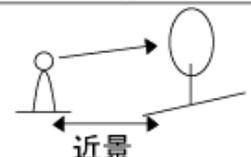
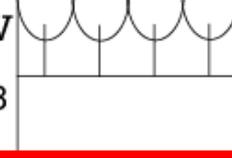
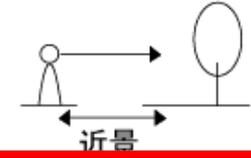
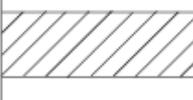
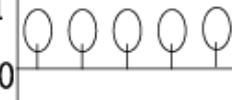
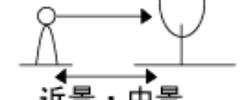


# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型		IV・5		手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 園路	IV 天蓋型		IV・3		近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
上部 下部 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型		I・10		近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



# 内・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が定められ見上げる景観が捉えられている。	既存樹林	IV 天蓋型 	IV・5 	 近景	手前から奥へ続いていく樹林が地形を強調している。
上部谷壁斜面	なし	既存樹林 公園施設 	IV 天蓋型 	IV・3 	 近景	近景の地区内の高密度の樹林が主景となり、建築物を覆い、その存在感を和らげている。
 谷底面	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林 修景樹林 広場	I 中心型 	I・10 	 近景・中景	近・中景の地区内の高・中密度の樹木によって領域感が形成されている。



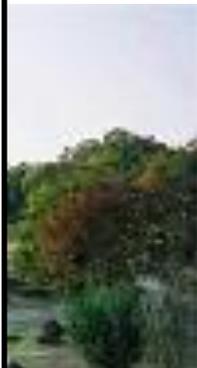
# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型 	Ⅲ・3 	断面 	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型 	Ⅱ・1 	断面 	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部 下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ両端型 	Ⅱ・8 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



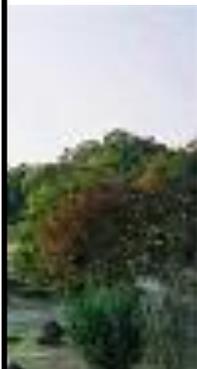
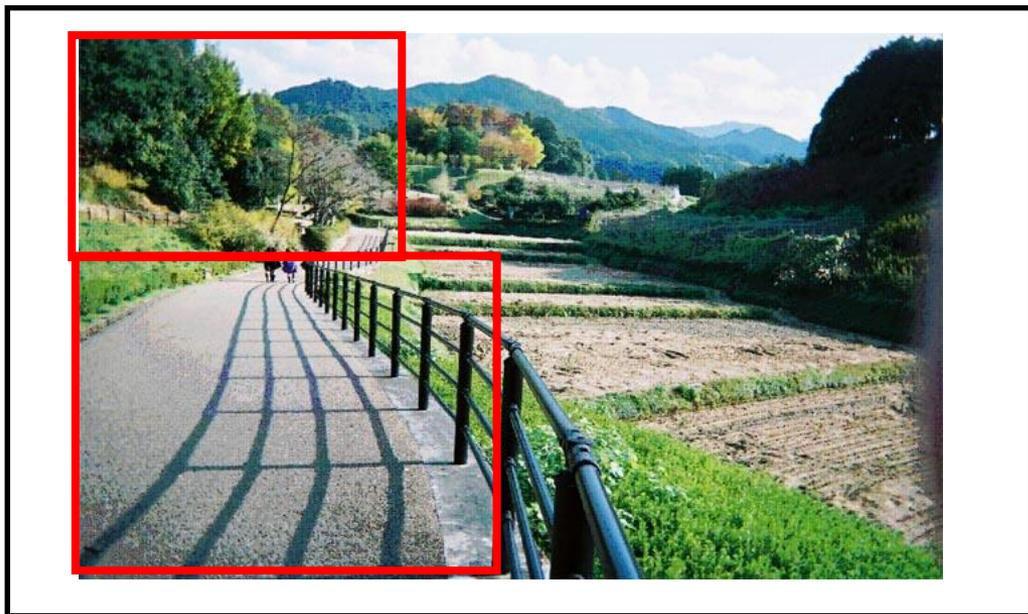
# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ		樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
					立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ 片端型		Ⅲ・3		近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ 両端型		Ⅱ・1		近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部 下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ 両端型		Ⅱ・8		中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



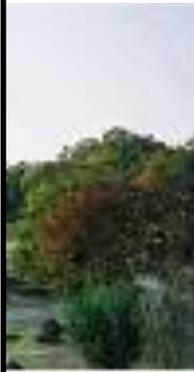
# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ		樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
					立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ 片端型		Ⅲ・3	 近・中・遠景	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ 両端型		Ⅱ・1	 近・中・遠景	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部 下部 谷底面	谷底面の広がりと両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ 両端型		Ⅱ・8	 近・中・遠景	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ 片端型		Ⅲ・3 	断面 近・中・遠景 近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ 両端型		Ⅱ・1 	断面 近・中・遠景 近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部 下部 谷底面	谷底面の広がりと両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ 両端型		Ⅱ・8 	断面 近・中・遠景 中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型 	Ⅲ・3 	断面 	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型 	Ⅱ・1 	断面 	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部 下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ両端型 	Ⅱ・8 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ 片端型		Ⅲ・3 	断面 	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ 両端型		Ⅱ・1 	断面 	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部 下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ 両端型		Ⅱ・8 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ 片端型		Ⅲ・3	 近・中・遠景	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ 両端型		Ⅱ・1	 近・中・遠景	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部 下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ 両端型		Ⅱ・8	 近・中・遠景	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型 	Ⅲ・3 	断面 	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型 	Ⅱ・1 	断面 	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりと両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ両端型 	Ⅱ・8 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型		Ⅲ・3 	断面  近・中・遠景	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型		Ⅱ・1 	断面  近・中・遠景	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存景 広場 園路 既存景	Ⅱ両端型		Ⅱ・8 	断面  近・中・遠景	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



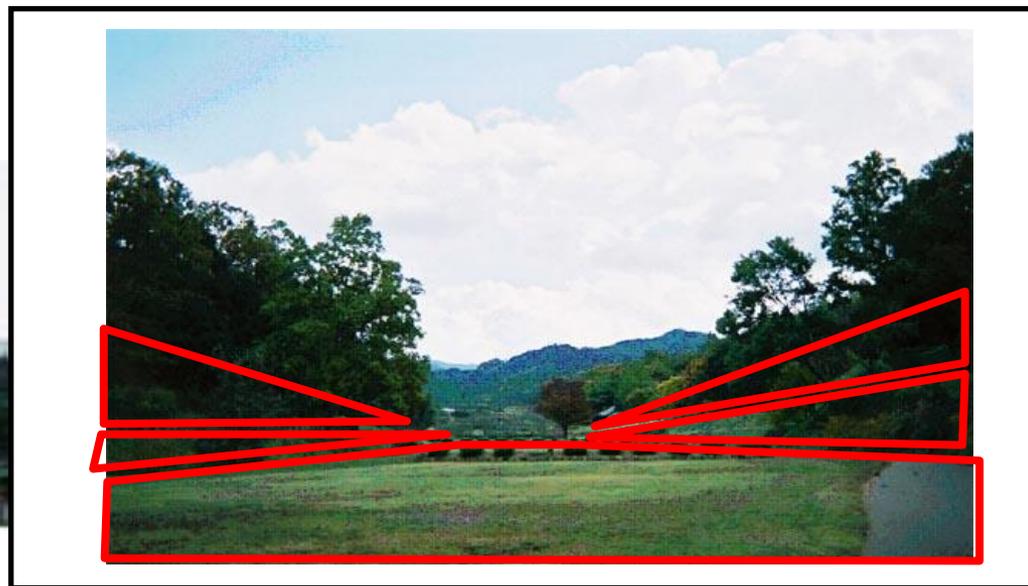
# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型		Ⅲ・3 	断面  近・中・遠景	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型		Ⅱ・1 	断面  近・中・遠景	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりと両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存景 広場 園路 既存景	Ⅱ両端型		Ⅱ・8 	断面  近・中・遠景	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型		Ⅲ・3 	断面 	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型		Ⅱ・1 	断面 	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりと両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存景 広場 園路 既存景	Ⅱ両端型		Ⅱ・8 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型		Ⅲ・3		近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型		Ⅱ・1		近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ両端型		Ⅱ・8		中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型		Ⅲ・3 	断面 	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型		Ⅱ・1 	断面 	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ両端型		Ⅱ・8 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果	
				立面	断面		
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型		Ⅲ・3 	 近・中・遠景	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型		Ⅱ・1 	 近・中・遠景	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ両端型		Ⅱ・8 	 近・中・遠景	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果		
				立面	断面			
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型		Ⅲ・3			近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型		Ⅱ・1			近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ両端型		Ⅱ・8			中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みを強調させる効果を発揮している。

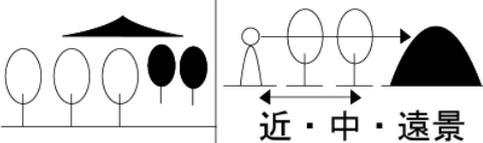
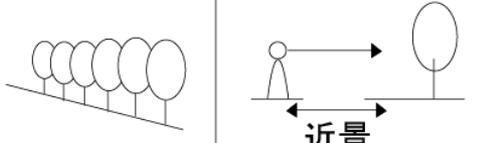


# 内・内外景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
上部谷壁斜面	斜面により視角が誘導され俯瞰景観が捉えられている。	既存樹林 園路	Ⅲ片端型 	Ⅲ・3 	断面 	近景の高密度の地区内の樹林と地区外の樹林により視角が誘導され遠景の山並みまで重なる重畳景観が見られる。
上部谷壁斜面	斜面が奥に伸びている事で奥行き感が創出されている。	広場 園路	Ⅱ両端型 	Ⅱ・1 	断面 	近景の地区内の低密度の樹林と地区外の樹林が一体的にフレームとして遠景の山並みを強調している。
上部下部 谷底面	谷底面の広がりや両側の斜面により領域感があり視角が導びかれる景観が捉えられている。	既存修景 広場 園路 既存修景	Ⅱ両端型 	Ⅱ・8 	断面 	中景の高密度の地区内の樹林が遠景に存在する山並みに視線が誘導される効果を発揮している。



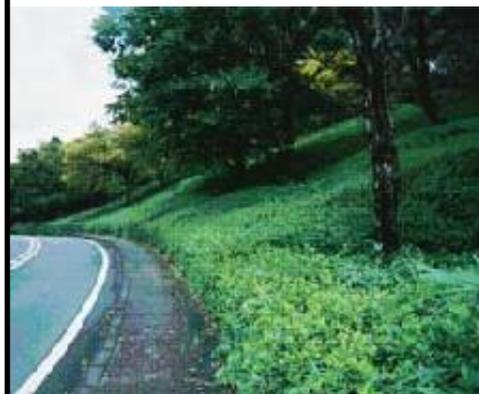
# 外・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 15		近景の中密度の地区内の樹林と中景の中密度の地区外の樹林と遠景の山並みが一体的に捉えられ緑の重畳景観が形成されている。
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	修景樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 1		近景の低密度の地区内の樹林が主景となっている。パースペクティブな構図により、奥行き感が形成される。

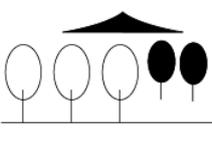
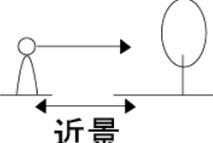


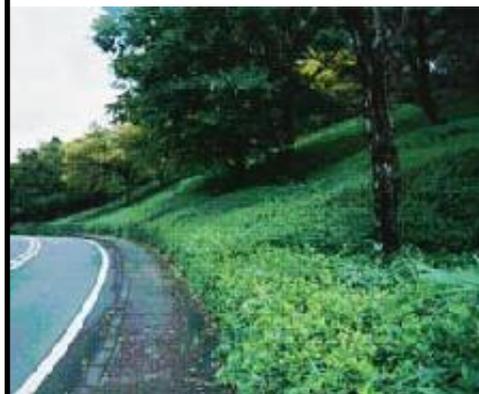
# 外・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている	既存樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 15	 近・中・遠景	近景の中密度の地区内の樹林と中景の中密度の地区外の樹林と遠景の山並みが一体的に捉えられ緑の重畳景観が形成されている。
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	修景樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 1	 近景	近景の低密度の地区内の樹林が主景となっている。パースペクティブな構図により、奥行き感が形成される。

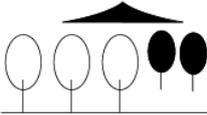
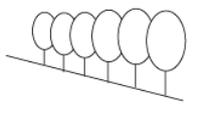


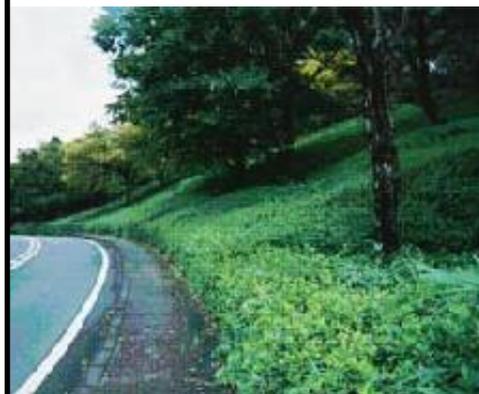
# 外・内景観の視対象特性 3-2節: 視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている	既存樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 15	 近・中・遠景	近景の中密度の地区内の樹林と中景の中密度の地区外の樹林と遠景の山並みが一体的に捉えられ緑の重畳景観が形成されている。
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	修景樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 1	 近景	近景の低密度の地区内の樹林が主景となっている。パースペクティブな構図により、奥行き感が形成される。



# 外・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 15	 近・中・遠景	近景の中密度の地区内の樹林と中景の中密度の地区外の樹林と遠景の山並みが一体的に捉えられ緑の重畳景観が形成されている。
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	修景樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 1	 近景	近景の低密度の地区内の樹林が主景となっている。パースペクティブな構図により、奥行き感が形成される。



# 外・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林	Ⅲ 片端型	Ⅲ 15	 近・中・遠景	近景の中密度の地区内の樹林と中景の中密度の地区外の樹林と遠景の山並みが一体的に捉えられ緑の重畳景観が形成されている。
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	修景樹林	Ⅲ 片端型	Ⅲ 1	 近景	近景の低密度の地区内の樹林が主景となっている。パースペクティブな構図により、奥行き感が形成される。



# 外・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 15		<p>近景の中密度の地区内の樹林と中景の中密度の地区外の樹林と遠景の山並みが一体的に捉えられ緑の重畳景観が形成されている。</p>
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	修景樹林	Ⅲ片端型	Ⅲ 1		<p>近景の低密度の地区内の樹林が主景となっている。パースペクティブな構図により、奥行き感が形成される。</p>



# 外・内景観の視対象特性 3-2節:視対象特性

地形タイプ	地形の効果	ゾーンタイプ	樹林の出現タイプ	樹林景観プロトタイプ		樹林の効果
				立面	断面	
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	既存樹林	Ⅲ 片端型	Ⅲ 15	 近・中・遠景	近景の中密度の地区内の樹林と中景の中密度の地区外の樹林と遠景の山並みが一体的に捉えられ緑の重畳景観が形成されている。
下部谷壁	斜面によって領域感のある景観が捉えられている。	修景樹林	Ⅲ 片端型	Ⅲ 1	 近景	近景の低密度の地区内の樹林が主景となっている。パースペクティブな構図により、奥行き感が形成される。



### ■内・内景観

- ・地形分類の出現タイプでは、上部谷壁斜面型が12景と全体の3割を占め最も多く、この地形を含む視対象も約5割と多いことが分かった。
- ・土地利用ゾーンの出現タイプでは広場＋既存樹林型が14景約4割と最も多くいことに加え、多様なタイプが見られた。
- ・土地利用ゾーンで既存樹林が含まれるものは30景と約8割にも及ぶ。
- ・既存樹林型を見ると14景では中・高密度の既存樹林が領域感・囲繞感を創出し、13景では中・高密度の既存樹林が主景となっていた。



広場＋既存樹林型(領域感)



広場＋既存樹林型(囲繞感)



既存樹林型(主景)

## 視対象特性まとめ

### ■内・内外景観

- ・地形分類の出現タイプでは8タイプがほぼ均等に出現している。
- ・上部谷壁斜面を含むものは11景と約7割に及んでいる。
- ・土地利用ゾーンでは既存樹林型が7景で約4割を占め最も多く、次いで広場既存樹林型も多い。
- ・地区内の中・高密度の既存樹林によって視線が地区外へと誘導されたり、低密度の樹林がフレーム効果を発揮し、地区内の中・高密度の既存・修景樹林と地区外の樹林や山が重なる重畳景観が生み出されていた。

### ■外・内景観

- ・下部谷壁斜面を含むものが5景中4景と8割を占め最も多くなっていた。
- ・土地利用ゾーンでは既存樹林型が3景と最も多い。
- ・地区内の中密度の既存樹林が領域感を創出したり、地区内の中・高密度の既存・修景樹林が地区外の樹林や山等と一体的な景観を呈していた。



既存樹林型(フレーム効果)



広場+既存樹林型(視線の誘導)



既存樹林型(重畳景観)

### 視点場の創出

・丘陵地地形で既存樹林が卓越した敷地では園路を尾根線沿いや土地利用ゾーンの境界部分、敷地の境界に設置するとともに公園全体に園路を巡らすことが有効である。

・谷底面等の平坦な地形上には広場ゾーンを創出することも有効である。

### 視対象の創出

・斜面や平坦な地形上で既存樹林は、主景や領域感・囲繞感のある景観が創出されるよう樹林密度を中密度以上に管理することが有効である。

・高さのある斜面や頂部平坦面で既存樹林はフレーム効果が発揮されるよう樹林密度を低密度に管理することが有効である。

・公園外から連続した景観を創出するために公園内の樹林を周囲にめぐらすことが重要である。

今後、これらを活かした景観整備が視点場と視対象を担保し、原風景を活かした魅力ある緑景観を形成するために有効であると考えられる。